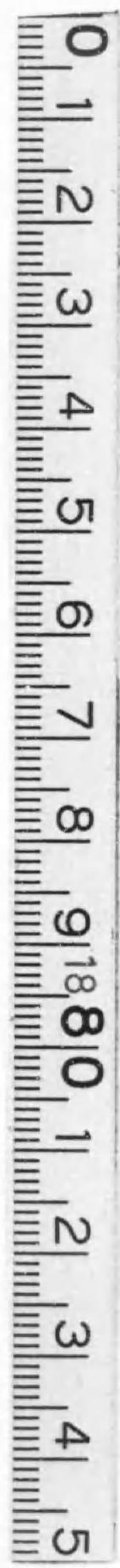


343
741



始



特214
463

高島易斷講究所本部編

算易
活斷
そ
ろ
ば
ん
占
ひ

東京
神宮館藏版



筭易 活斷 そろばん占ひ (目次)

| | |
|----------|---|
| 緒言 | 一 |
| 第二、八卦の數 | 二 |
| 第三、占ひの仕方 | 二 |
| イ、下卦の作り方 | 三 |
| ロ、上卦の作り方 | 四 |
| ハ、重卦の作り方 | 五 |
| ニ、事件の判断法 | 五 |
| ホ、變卦の出し方 | 六 |

第四、十二支の數と刻の數

二

第五、判断の仕方

| | | |
|---------|-------|----|
| 乾 爲 天 | | 一〇 |
| 坤 爲 地 | | 一〇 |
| 水 雷 屯 | | 一六 |
| 水 天 需 | | 二二 |
| 天 水 訟 | | 二二 |
| 地 水 師 | | 二八 |
| 水 地 比 | | 三一 |
| 風 天 小 畜 | | 三四 |

| | | |
|--------|-------|----|
| 天 澤 履 | | 三七 |
| 地 天 泰 | | 四〇 |
| 天 地 否 | | 四三 |
| 天 火 同人 | | 四五 |
| 火 天 大有 | | 四八 |
| 地 山 謙 | | 五一 |
| 雷 地 豫 | | 五四 |
| 澤 雷 隨 | | 五六 |
| 山 風 蠱 | | 五九 |
| 地 澤 臨 | | 六二 |

三

| | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 坎 | 澤 | 山 | 山 | 天 | 地 | 山 | 山 | 火 | 風 |
| 爲 | 風 | 雷 | 天 | 雷 | 雷 | 地 | 火 | 雷 | 地 |
| 水 | 大 | 頤 | 大 | 无 | 復 | 剝 | 賁 | 噬 | 觀 |
| | 過 | | 畜 | 妄 | | | | 嗑 | |
| | | | | | | | | | |
| 八六 | 八四 | 八二 | 七九 | 七七 | 七四 | 七一 | 六九 | 六七 | 六四 |

| | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 水 | 火 | 風 | 地 | 火 | 雷 | 天 | 雷 | 澤 | 離 |
| 山 | 澤 | 火 | 火 | 地 | 天 | 山 | 風 | 山 | 爲 |
| 蹇 | 睽 | 家人 | 明夷 | 晉 | 大壯 | 遯 | 恒 | 咸 | 火 |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 一一四 | 一一一 | 一〇八 | 一〇六 | 一〇三 | 一〇〇 | 九七 | 九四 | 九一 | 八九 |

| | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 澤 | 火 | 澤 | 地 | 澤 | 天 | 澤 | 風 | 山 | 雷 |
| 火 | 風 | 水 | 風 | 地 | 風 | 天 | 雷 | 澤 | 水 |
| 革 | 井 | 困 | 升 | 萃 | 姤 | 夬 | 益 | 損 | 解 |
| | | | | | | | | | |
| 一三九 | 一三七 | 一三四 | 一三二 | 一二六 | 一二六 | 一二四 | 一一一 | 一一九 | 一一六 |

| | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 風 | 兌 | 巽 | 火 | 雷 | 雷 | 風 | 艮 | 震 | 火 |
| 水 | 為 | 為 | 山 | 澤 | 澤 | 山 | 為 | 為 | 風 |
| 渙 | 澤 | 風 | 旅 | 火 | 歸 | 漸 | 山 | 雷 | 鼎 |
| | | | | | | | | | |
| 一六四 | 一六二 | 一五九 | 一五七 | 一五四 | 一五一 | 一四九 | 一四六 | 一四四 | 一四二 |

| | | |
|------|-------|-----|
| 水澤節 | | 一六四 |
| 風澤中孚 | | 一六六 |
| 雷山小過 | | 一六八 |
| 水火既濟 | | 一七二 |
| 火水未濟 | | 一七四 |

八

筮易 活斷 そろばん占ひ (目次終り)

緒言

筮法は古法もあり、又梅餞の法もあり、又結草折竹の法があり、各々通して用ふることが出来るか、姓順せいじゆんをあるから數によるものを以て第一に正當とすべく、占ふ年、占ふ月、又其の占ふ時うらなの如きは皆之れ自然しぜんの數である。されば苟いひしくも人爲じんゐを加へてはならぬのである。そこで先づこのそろばん占ひを爲すに付ては、或る數を求むることが必要であつて、其の數は即ち自然しぜんの數により、其れに依つて判斷はんぱんするのである。此の自然の數によりて如何なる事柄ことづからにても直ちに占ふことが出来るのであつて、何人も何等なんらの練習れんしゆなどを要せない、直ちに之れを運用うんようすることが出来るのである。

第二、八卦の數

二

八卦の基本とも云ふべきものである。之れも又占ふ人は常に心得て置くの要がある。其の基本となるべき數とも云ふのは、即ち

| | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 一は乾 ☰ | 二は兌 ☱ | 三は離 ☲ | 四は震 ☳ |
| 五は巽 ☴ | 六は坎 ☵ | 七は艮 ☶ | 八は坤 ☷ |

以上の數は之れを如何にして求めるか、先づ第一には八卦の下卦を作るのである。即ち最初ある數を求めて、其の出でたる數の如何によつて下卦を作るのである。次に上卦を作り、又變卦を作ると云ふ順序となるのである。

第三、占ひの仕方

占ひの仕方に付ては先づ第一に下卦を作り、次に上卦を作り、變卦を作つて、之れを組合せて判斷をするのであるが、先づ其の下卦は如何にして之れを作るか。

イ 下卦の作り方

事件を占ふ時の年の十二支數、例へば昭和四年は巳年であるから、六とする（次に之れを述べる）其の六に、更に占ふべき月の數、例へば一月に占ふものとせば一を加へる。而して更に之れに占ふべき月を加へる（年の數は十二支により月日は太陽曆に依る）のである。更に尙之れを詳細に説明せば、例へば昭和四年一月二十三日に占ふものとして四、一、二十三、を合計すれば二十八となる。此の二十八を八にて拂ふのである。何故に八にて拂ふかと云へば、八は八卦の基本數であつて此の八に基いて出來て居るからである。今二十八を八にて拂ひ、二十八の内には八が幾つあるかと云へば三つあつて、残りが四つあることとなる。扱て此の残りの四つ即ち下卦となるのであつて、前述

した八卦の數に配當するなれば四は ☳ 震である。かうして此の場合の占ひは下卦が四となり震となるのである。尙ほ更に注意すべきは、八にて或る數を拂つて残りがなるとき、それは同じく八である。例へば三十二と云ふ數なれば八が四つあつて、割り切りて残りがなから、同じく此の場合八である。

ロ 上卦の作り方

以上の如くにして下卦が出来たならば、更に上卦を作るのである。それには下卦にて現はれた數に對して、更に其の占ふべき人の年齢の數を合へる。例へば以上の如く昭和四年一月二十三日に四十六歳の人を占ふものとする。

巳年四、一、二十三、四十六歳であるから之れを合計すれば七十四となるのである。故に之れを下卦の場合も同じく八にて拂ふと、八か九つあつて残りは二である。されば二は前述したが如く

兌であるから、此の場合の上卦は兌となるのである。

ハ 重卦の作り方

扱て以上の如く下卦も、出来上卦も出来たのであるから、之れが重卦となるのである。即ち前述の下卦震 ☳ を下位として其の上至上卦の二兌 ☱ を重ねると、重卦が成立して此の場合の重卦は

☱☳ 澤電隨

となるのであつて、此の場合の占ひの本卦は澤電隨となるのであつて、如何にして此の場合の本卦の名稱が澤電隨であるかは、八卦の名稱の説明を見れば直ちに知ることが出来る。

ニ、事件の判断方

本卦が出来たならばそれに依つて種々なる事件を判断するのである。如何にして其の事件を判断

するか、本書の目次を見る、例へば以上の場合に澤雷隨を判断せんとするには目次の澤雷隨の頁數を見出して、其の頁數を繰り出すなれば、此の個所に於ては運勢を初めとして、種々の事件を判断する事が出来るのである。併しながら此の重卦、即ち本卦は其の事件の現在に付て判断するものであつて、其の前途の吉凶如何を判断するに付ては變卦によるべきものとする。

六

ホ 變卦の出し方

變卦は之れを重卦の下より數へて、初爻、二爻、三爻、四爻、五爻、六爻と云ふのである、さて如何にして其の變卦を求むるか、それには以上述べた重卦の總數に對して其の占ふべき時の數を加へるのである。例へば右の場合に、午後四時に占ふものとせば、此の四時は申の刻であるから、申の刻の數を加へる。刻の數は次に述べる。申の刻は九であつて、此場合は以上の重卦の數に、九を加へる、例へば前述の昭和四年一月二十三日の申の刻（午後三時より五時まで）の數九を加へると

八十三となる、之れは變卦を求むるのであるから、八にて拂はずして六にて拂ふ、即ち下卦上卦六本の籤木の數六を以つて拂ふのである。然れば六の數が十三あつて、残りは五となるのである。此の場合の重卦は即ち五爻變となる。

本卦 澤雷隨

變卦 震爲雷

前例の場合に昭和四年一月二十三日申の刻（四）に占つた場合は、即ち本卦が澤雷隨であり、變卦が震爲雷となるのである、これは先づ本卦に依つて判断を爲し、次に變卦を参考として持つて占ふこととなるのである。右の如くにして如何なる場合にても、何等の手續もなく、直ちに或る數を求めて、而して日々の事件に付て之れを占ひ、参考とすべきである。

第四、十二支の數と刻の數

八

十二支の數はそれを易に配當せば次の如くなるのである。即ち

子、一 丑、二 寅、三 卯、四 辰、五 巳、六
午、七 未、八 申、九 酉、十 戌、十一 亥、十二

次に時刻の數であつて、これは昔しより唱へ來られたるものである。

子の刻 午後十一時より午前一時まで
丑の刻 午前一時より三時まで
寅の刻 午前三時より五時まで
卯の刻 午前五時より七時まで

辰の刻 午前七時より九時まで
巳の刻 午前九時より十一時まで
午の刻 午前十一時より午後一時まで
未の刻 午後一時より三時まで
申の刻 午後三時より五時まで
酉の刻 午後五時より七時まで
戌の刻 午後七時より九時まで
亥の刻 午後九時より十一時まで

九

第五、判斷の仕方

三三 乾爲天

此の卦は高貴の人學者僧侶及び世外異業の人に於ては、其名四方に顯れ美名の兆あり。常人に於ては、氣質高慢に馳せて人に忌憎まるゝことあるべし。或は日用職業を嫌ひ文雅風流に馳せ又仕官の念を發して己が不徳を省みざるの徒なるべし。是唯外見はよくして自ら心勞を懷き破財ありて其身に益なし。唯金銀住居の勞或は口舌爭論ありとする故に、常人は必ず我意利口を專にせず律義誠信にして百事に慎み不正非利義に走らず、天の公然たる如く明々として私の勝手を行ふべからず

是を貞に利と云ふ。○天時は晴る。子酉の日ならば雨あり。○願望は身に應ぜぬことならん。叶ひがたし勤むべし。○待人は來らず。○戌の日に至れば便宜あることもあり。○婚姻は半吉。大抵平なれども媒に障りあるか又二三に及ぶ意あり。○生産安し、男子ならん。○得物は正直なる人ならば得るなり。○疾病は危篤の症夏冬は殊に危ふし。○醫師は西北の間名高き醫あり。○失物出づべし、戌亥の方にあるべし。○變宅は不相應なり、思慮して止むべきか。○訴訟は扱に任すべし我意なれば災あり。○走人は城内か神佛寺等に近き所に居るべし、然らざれば西北に再び走る。○旅行は平、私慾のためにせば凶。○仕官は宜し、不徳なる人は見合せて宜し。○抱人は宜し、南方の人は不宜。○賣買は時不宜合すべし、夏冬は利なし。○高下は格外に上るなれども久しく保たず。○物事難儀なる心あり。○萬事進こと凶、退に吉。○住所安からず、薄き氷をふむがごときの意ありけんなんを慎むべし。○色慾を慎むべし、○損失あり、又盜難を防ぐべし、

(参考)

物を求むる意有て果さず、又人に戀慕さるゝ意あれども通ぜず、大要名ありて實なきの兆がある。○龍の雲を没するの意がある、○志望とげず憂患あり、○住居安寧ならず薄氷をふむが如きの意がある。○双傷を慎しむべし。○色慾を慎しむべし。○火の難を蒙ることを防ぐべし。○百事間違あり憂慮ありて迷ふとす。○此の卦進むに損ありて退くに災なし然れども遲滞すれば得を失ふ。變卦、初爻天風姤、思ひよらずして會合するの意あり、相場ごとすべて人に頼ること調ふ、二爻、天火同人、人心同じで親しみ深き意がある。故に萬事萬端調ひて立身出世あるべし。三爻、天澤履、禮儀の心あり又進む意あり、姤は驚くこと有て後には吉となる意がある。四爻、風天小畜、物ごと塞り止まる意があり、又風に見て手に取られぬ卦なれば萬事急に調ひがたし。

五爻、火天大有、日の天上に有て照出たる意にして人も時を得たる卦である。然れども位負けを

する事の意があり、金 等すべて損失あるべし、又親類朋友或は婦人など人の事に付て苦勞するこ
とあるべし。

六爻、澤天夬、剛強に過るの卦なれば性急にして事をあやまることあり慎しむべし。

☷☷ 坤 爲 地

此卦を得る人は己が身を勞し人を補助するの世話苦勞あるべし。乾は父たり、君たり、夫たり。坤は母たり臣たり、婦たり、故に人に悖らずして順ふこと吉なり、坤の性陰にして物に迷ふ意あれ共、百事危むの念慮を去つて、真正柔順にして日用當然を守る時は榮譽發達あり。但し我に力となるのを得て通達あるべし。安定となれば、居住を變じ、家業を改め人の先に出んとする類皆

凶なり。又貴上の人に逆ふこと等深く慎むべし。○三時は晴る、丑卯の日の外は雨ふる、○願望は貞正なれば叶ふ、あせりては功なし。○待人來らず、されども卯未申の日を待つべし。○婚姻は夏秋は調ふ、されども急げば成がたし。○生産は復と豫との變は速に生る、男子ならん。○得物は僧か女によりて得る、春と冬は宜し。○病は重し、治するとも長し、○醫師は乾の方老醫吉○失物は急に不出もしくは西南。○變宅は動くべからず、凶。○訴訟は和談長者の意に任すべし。○走人は近くに在るべし、婦人の手掛を問ふべし。○旅行は同行あれば宜し、遠方は凶。○仕官は凶正にして急ぐこと勿れ成るべし。○抱人は宜し丑寅の人は凶。○賣買は舊を守り人の意に従ふべし、利なし。○高下は下る久し。

(参考)

白蛾先生解は通達の意あり然れども一たび動いて後靜なる意あれば損あつて後益あり、勞して後やすし、○吉凶の岐とす事に應ずべし、人に迷はさるゝことを慎しむべし。

變 卦

初爻、地雷復 物盡きて又始まるの意あれば、一度はあしくとも復吉事に向ふ時節にして諸事思ふことを成就すべし。

二爻、地水師 大人の意ありて忠臣孝子なれば吉、常の人には大抵利あらず、争論を慎しむべし。

◇人になやまさるゝ事あり又人を害ふ意あり、◇物の入組で解き難き意あり。◇人の頭と成る理あり事によつて考ふべし。

三爻、地山謙 先に屈して後に伸るの意なり、故に始には何事も調ひがたく苦勞多く物事に不自由をすれども後には利ある事必ず來る、◇諸事ひかへめにすること吉、又人に隨て吉、自身剛氣を出せば凶。

四爻、雷地豫 立身出世の意あり、◇新規に物を取組むの意あり、◇怠心を生ずれば大に驚くことあるべし。

五爻、水地比 親有て人と相和業するの卦なり、されば知者朋友或は一家などより力を添へらるゝ意がある。

六爻、山地剝 草木の榮花を發する卦なれば、新規に物を取始るに宜し、然れども物の高き處より落る意あれば人も身上の安堵ならず、例へば浪人者などの意に似たり、◇人に邪魔を入れられることあり、◇此方より向ふへものを仕かれるには凶、◇時を失ひ思慮分別定らざるの意がある、△末は吉なり。

三三 水雷屯

此の卦に 人は心中物を進み爲んといふ勢あつて短慮なれども、唯物を危む忍ぶ氣性あれば人

知らざるの勞苦あり、又震を龍とし、坎を水とす、龍水中に動くの象あり、今水中に在て遂に登天すべきなれば、人も住所移轉の思ひありて居所につきて疑みありとす。諸事對談あれども未だ取しまりなきなり、○若し物を改めなさんとして妄に進めば、益なくして却つて損財を招ぐ、唯時を俟て謀るときは繁榮の兆なり、○天時は曇、辰午の日は晴る、○願望急に叶はず、○待人障出來て來らず、○婚姻急に調はず、○生産は産前になやむことあれども障なし、男子ならん、○得物は得がたし、○病は危し、二の爻三の爻變する時は凶、○醫師は北東、○失物は東北の間にあれど出がたし、水邊なり、○宅は舊を守りて動くこと勿れ、○訴訟は扱に任せて宜し、○走人は同志ありて出ず、○旅行は途中に難あり、仕官は宜しからず、時を待つべし、○抱人は宜しくして才短し、賣買は利なし、時を待て宜し○高下は後に上ることあり。

(参考)

白蛾先生解、暗夜に物を尋ね砂中の粟を拾ふが如し、破財の兆あり慎むべし、△居を移し國を去り、家産を改むる等の事あるべし、然れども調ひがたし舊きを守りて妄動すること勿れ、自然に便宜を得べし、△己れ一命のためにすること又は我意を以てすることみな成らず。

變 卦

初爻、水地比 親有て人と相和樂するの卦、されば知者朋友或は一家などより力を添へらるゝの義がある。

二爻、水澤節 物ごとと滞て阻あるの卦、△又自然と程能き意もあり、物に違背ことなく廻するとも見るべし、然れども大略運の拙き卦と知るべし、△不意の災難に遇ふことあり慎むべし。

三爻、水火既 濟物の亂の始とする一旦は、就するとも末には破るゝ意あり慎むべし。

四爻、澤雷隨 我動き彼悦ぶ故に隨ふと云ふ相互に従ひ通するの義がある、△又枯木重茂の卦なれば

ば物の變て吉なるべし、住所がかわるか又は故郷を去乎變じて吉。

五爻、地雷復 物盡て又始る卦なれば、一度は悪しくとも復吉事に向ふ時節にして時事思ふ所を成就すべし。

六爻、風雷益 心身定らずして辛苦ありと知るべく、△思ひよらざる害難あり損凶あり慎むべし。

三三 山水蒙

此の卦を得る人は百事吉なる如くなれども、思想深く心を以て決せんとなせども、善惡邪正眞偽吉凶も明斷なり難く、徒に心勞するのみ、然れども真正純一にして、長上の教示に順ひて我意を用ひざるときは、次第に發達榮昌するの兆あり、必ず性急を戒めよ。若し又童蒙にして此卦を得れば、後大人聰明の譽あるべし。唯瘡毒の患を防ぐべきなり。○天時は急に晴す。辰酉の日に至て晴

る。○願望は心力を費すとも今は叶ひがたし。○待人はまちがひ出来て来りこぬ。○婚姻は談違にて滞り終にはととのふ。○生産は男子なり、少し碍る。○得物は得がたし。病は治すとも永引くべし。○醫師は北か寅丑の方。○失物は東北の方なれども尋ねがたし。○宅は舊を守りて動くこと勿れ。○訴訟は人の意見に付て却て理に當る。○走人は丑寅の方遠く出ず、速に尋ね求むべし。○旅行は病難ありて止りて宜し。○仕官は長く心掛くれば成る、急げば凶、○抱人は年季長く抱るには吉なるべし。○賣買は利なし、時を待つべし。○高下は今すはりて至れども段々に上る。○諸事簡ちがひ至るべし、慎むべし。○隨て物事念入つてする事はよろし、人に迷はさるゝことあらん心付くべし。

(参考)

白蛾先生解、思ふ事ありて未だ決着せず、願ふことあつて通ぜず、見ることあつて其の色を分明にせず、人事もみな吉兆あつて未だ吉ならず、苦勞かん難して後初めて吉なるべし、△忌を恐る

ゝ意がある。

變 卦

初爻、山澤損、本と減省とて物の損失の卦なれば今日の人には却つて宜しとす、△後に利益を得るか又は譽れあるか末の宜しきことあり、△急にすること成らず徐々にすること成就すべく、一度にて調ひがたきことは二度も三度もかゝれば必らず成る、

二爻、山地剝 楫木の榮花を發する卦なれば今より新規に物を取始むるに宜し、物の高き處より落ちる衆あれば人も身上の安堵ならずたとへば浪人者などの意がある。

三爻、山風蠱 山中に風を食み吹出し壞るゝ意にして諸事に付て難儀迷惑することあるべし、△争ひごとを慎しむべし、

四爻、水火未濟 物の成就する卦である未だ用を成さず、然れども是より以後相交りて事を始めるの吉兆とする、願望調ふ、△胸中に思ひ有りて其品を云ひ出すか末に云ひ出さざるの中間に知るべ

し。

五爻、風水喚 物の散り解る意ありて悪事の身を離るゝ吉兆とする、然れども散亂の残ありて損失あるべし、△横合より思ひよらぬ失難又は損失を受くること又世話苦勞あるべく、かねて慎しむべし。

六爻。地水師 大人の徳ありて忠臣孝子なれば吉常人には大抵利しからず、争論を慎しむべし、△物の入組で解きがたき意もあり、△人の頭と成る理あり事によつて考合すべし。

三三 水天需

此卦は諸事急にすれば成就しがたし、其上却つて難儀にあふ心あり。ゆるくと辛抱を仕遂げば發達を得べし。私慾に走り外邪に引かるゝことを用心すべし。○天時は久しく曇る辰酉の日に至つて晴るゝか。○願望は今急に叶はず。○待人は遅し、辰巳酉の日に音づれあるべし。○婚姻は調ふとも遅し。○生産は初産は女、次ならば男、をくるゝ。○得物は空し。○病は長し、死するの憂はなし。○醫師は未申の間。○失物は戌亥の方、水邊に在れども出でず。○變宅は止めて宜ろし。○訴訟は取扱人に任せて宜ろし。走人は大川に近き所に止まる。○旅行は宜ろしからず、危き事あり。○仕官は時節を待ちて宜ろし。抱人は凶し、尙ほ擇ぶべし。○賣買は利なし、時を考へて待つべし。○高下は急に上らず。

(参考)

白蛾先生解、諸事急にすること成就しがたく其上却つて難儀に逢ふこゝろあり、ゆるくと爲す

ときは吉也、需は待也物を待ちて居る意にすべし、
變 卦

初爻、水風井 萬事改め變ることには宜しからず、各々當然の職分を守り勤めて妄りに新規に事に
取りかゝること勿れ、皆損あつて益なし、

二爻、水火既濟 物の亂の始めとする一旦は成就すれども末には破るゝ意あり慎しむべし。

三爻、山澤節 物ごと滞りて阻ある卦である、△又自然と程能き意もあつて物の違背することなく
通ずるとも見るべし、然れども大略運の拙な卦と知るべし。

四爻、澤天夫 剛強に過ぐるの卦なれば性急にして事を傷くることを慎しむべし、△又大器決斷
の人品あれども柔和にして堪忍することを得ざるべし。

五爻、地天泰 貴人には吉事とすることあれども常人には凶也心中なやみ多く、諸事表向は宜しく
見ゆるとも意には宜しからず。

五爻、風天小畜 物ごと塞り止まる意があり又目に見て手に取られぬ衆なれば、萬事急には調ひが
たし。

三三 天水訟

此卦を得る人は貞正を守り、剛強の心を慎みて凶災を招くこと勿れ。諸事己が智謀を以て無理に
進み或は短慮にして物を忌み嫌ひ、或は鬱塞し進退ともに皆な悔あつて吉利ならず、唯四五の爻變
すれば思ひ遂けて漸く安全に至るべし。家内に取つては、已五陽の大人なれば、非理を以て眷屬の
正理を窒ぎ押し付けて不和を起すことなかれ。又盜難を防ぐべし。○天時は後に晴るゝとも辰巳の
日に非ざればふる。○願望は叶ひがたし、時を待つべし。○待人は來らず。○婚姻は凶、見合すべ

し。○生産は男子なれども産後を慎しめ。○得物は得難し。○病は危し難症なり。○醫師は子の方宜し。○失物は宜しかるべし。強てせんさく爲すこと勿れ。○變宅は宜しからず、舊を守るべし。○訴訟は凶し理を以て失ふ。○走人は戌亥に去るが不出。○旅行は遠近共に凶し、○仕官は益なし時を待つべし。抱人は剛情にして宜しからず。○賣買は利なし。○高下は上る様子にて忽ち下り狂ふなり。○心身安からず、憂ひ怨み多し。○爭論事を慎しむべし。

(参考)

日蛾先生解、上下別れになつて相交らざるの義にして背争の卦である、△心身安からず憂ひ悲しみ、争論に至る、△理を非とせられ吉うれひにかわるときなれば萬事陽してつゝしみ常を守りて靜かに心轉動することなければ咎なし。

變 卦

初爻、天澤履 禮儀の心あり又進むの義あり、始は驚ろくことありて後には喜びとなる意ある卦なり、△物を分ち定むる意あり、身分より大なる望事ありと知るべし。

二爻、天地否 物事塞つて通ぜざる義にて思ふやうに成りがたく、我より上れる人より咎めに遇ふこゝろあり、然れども常人には吉とす、

三爻、天風姤 物の聚と散り失せる衆ありて、定めなき義あれば人も分別工夫定まらずして迷ひ居る意がある。

四爻、風水涣 物の散り解く意ありて悪事の身を離るゝの吉兆とする、然れども散亂の義ありて損失あるべし、△横合より思ひよらぬ災難又は損失を受け又世話苦勞あるべしかねく慎しむべし。

五爻、火水未濟 物の成就するの卦である未だ用を爲さず、然れども是より以後相交りて事を始むるの吉兆とする、△胸中に思ひ有りて其の品を云ひ出すや云ひ出さざる乎の間と知るべし。

六爻、澤水困 困窮難儀の卦であつて諸事不自由に我が志通達せず苦勞多きの卦である、△住所を

離るゝ程の辛苦あるべし、妻子等に付て苦勞がある。

二八

䷧ 地水師

此卦は大人の徳ありて、忠臣孝子なれば吉なり。常人には大抵利からず。故に口舌争論盜難女難を防ぐべし。又住居の勞苦あるべし、然れども妄に轉動すべからず又瘡毒等總て病難を防ぐべし。○天時は降つて晴るゝ。若し不酉ならば雨なり。○願望は叶はず、待つべし。○待人は來るべくして來らず。卯辰の日來るか。○婚姻調ふべし、なれども速かならず。○生産は初め男子、二度目は女子、安産なり。○得物は得べからず。○病は危し、又變あらんとす。○醫師は北か未申の方なり。○失物はよく探索すべし、西南の水邊なり。○走人は未申に行、○旅行は藝術ある人は宜し、さなき

は凶なり。○仕官は妨ぐる者あり、和順にしてあせること凶。○抱人は止めて可なり。○賣買は損失あり、船荷ならば大いに損す、○高下は段々に下るべし。○住所心身辛苦あり。○人になやまさるゝ意なり、人を害する意あり。○物の入組で解けがたき意あり。○若し思ひがけぬ幸福あらば却つて凶ならん。諸事慎しみて明白にせよ。

(参考)

白蛾先生解、下として上を犯し自らほこりて人を偽り、或は私欲の爲めに人を苦しめず和順の兆である。△事財を望むの類大人は得べく小人はならず、然れども人の爲めにはかりて自己の欲にせざるは成るべし。

變 卦

初爻、地澤臨 貴賤相交りて親しむ卦なり故に物ごと柔和にして吉、剛氣なる事あるべし。△横合

二九

より難澁なんしぼると云ひかけられ苦勞くろうすることあるべし。

二爻、坤爲地 地の徳にして萬物を生長せいじやうする理あり、故に人の事に付て世話苦勞せわくろうありと知るべし。

△人に迷はさるゝことを慎しむべし。

三爻、地風升 草木の地中に有るを次第しだいに地上に發達はつたつする意にして、段々立身出世だんぜんりつしんしつせするの卦である。

四爻、雷水解 魚の網を逃れ出たるに意して難み解散かいさんなり、故に人も難儀なんぎなる所を遁れ出づる卦である、然れども能くよ慎しまざれば又再び禍ありと知るべし。

五爻、坎爲水 難儀困窮なんぎこんきやうの卦なり、遠く住所を去つて吉、△常にかはりたる怪しき意ありと知るべし。

六爻、山水蒙 雀蒙の義にして物の明白めいぱくに決斷けつだんして相調ふこと成りがたき卦なり、然れども段々と産の智思ちしつく意にて次第しだいに宜しきに向ふと知るべし。

☵☶ 水地比

此卦は親しみ至て人と相和あいわするの卦なり。君の一陽を臣民の五陰が尊敬し又君一人にして臣民の最多あまたを憐れむの衆あり。故に此卦を占ひ得ば知音朋友ちひんほうゆう或は一家などより力をそへらるゝ義あり。然れども大抵運拙えそくなしと會得えとくして物に進まず、時の至るを待つべし。若し剛氣ごうきの人此卦を得れば大凶眼前がんぜんに来る。又新規しんきの望みありとも心中に懐いだきて言外げんそとに出すべからざるの意あり、○天時はふる。○願望は常人は叶はず、小事せうじは成るべし。○待人は子卯酉の日必らず沙汰さた至なり。○婚姻こんいんなるべし遅ければ調ひがたし。○生産は安し、女子ならん。○得物は少し得べし。○病は危あやし、急に不治。○醫師は坤北方。○失物は北方水邊みなとにあり。○變宅へんたくも宜ろし、四隣かたりのの親しみあり。○訴訟そしやうは平和に

すべし、凶。○走人は歸る心あり、西南。○旅行は同行あれば吉兆。○仕官は宜し、調ふべし。○抱人吉、下卦動けば凶し。○賣買は小利あり、○高下は下るべし。○油断なく急にすると吉延引すれば調ひ難し。

(参考)

白蛾先生解、頼る所有りて之れに従ひ見る所あつてこれに至るの意あり、また是を以て彼に接へ彼を以て是をはかるの義なり、故に小人は必らず疑ひ迷ふの意あり。必らず願あり先に難み後に吉變 卦

初爻、水雷屯 草の始めて生じて來た伸びざるの意にて萬事に付いて其の兆はあれども、相談ことの類取りしまりなき意がある。

二爻、坎爲水 難儀困窮の卦である、遠く住所を去つて吉、常にかわりたる怪しき意ありと知るべし。

し。

三爻、水山蹇 龍の珠を失ふ意にして寶散財貧にして辛苦あり難 甚しき卦なり、△險を見て止まるの卦なれば大凶なし人に逢ふて吉、

四爻、澤地萃 物の聚會して繁昌するの意がある、諸事吉とす、

五爻、坤爲地 地の徳にして萬物を生長するの理があり、故に人の事に付いて世話苦勞ありと知るべし、△人に迷はさるゝことを慎しむべし。

六爻、風地觀 大風吉然れども晴天に雲の起る如く思ひよらぬ事ども出來し苦勞することあるべし然れども人に仰ぎ尊ばるゝの意ある卦なれば又外より能く世話し入魂にあづかるべし、

三三 風天小畜

此卦は物事塞り止る意あり、又目に見て手にとられぬ衆なれば、萬事急に調ひがたし、時節を待ちて貞固に居るべし、短氣我意を以つてせば大に災害を被るの兆あり、深く慎しむべし、親戚の長者に憑つて宜ろし、凡そ此卦に遭ふや心中一物あれども包みて言語に出し難し、又物に忌嫌ある故人と交り親和せず、少しく短慮にして人の性に逆ふの意あり、本實情あれども疑惑して他を疑ふの意あれば、人も亦信頼せず、且遠方交易の重あるか旅行の思ひあり、時に順ふて謀るべし唯物の間違口舌或は夫婦むつまじからずとす、○天時は曇りて雨なし、○願望は今叶ひがたし、終りを待つべし、○待人碍ありて來らず、○婚姻利からず、○生産は辰巳酉の日か又月を越ゆるか、多分女

子ならん、○得物は性急にしては得がたし、心長くすべし、○病は陰氣不足死なんか、○醫者は北か辰巳。○失物は戌亥に在、出でがたし、○變宅宜し、○訴訟は理ありて用ひられず、用心すべし
○走人は戌亥に去る、歸らず、○旅行苦しからず。○仕官は時節凶し待つべし、○抱人長く居らず
○賣買は常を守るべし、更に利なし。○高下は暫らくすはりて上る。○不慮の災難を防ぐべし、○人をまち物を尋ねること間違ひ多し。

(参考)

白蛾先生解、辛苦を抱いて常に憂へ憤ふる意、又親しき人と遠く隔り又己を救ふ力なく便りとすべからず、△不慮の災難を防ぐべし。

變 卦

初爻、巽爲風 通達の意ありて思ふこと遂ぐるの卦なり、然れども横合より障ありて事を仕損する

也、兎角人に順ひてするに宜し。

二爻、風火家 人家内安寧なる卦なり、萬事にすること婦人を以つてすれば吉。△家軍の世話あるべし、又立身名利の望みあるべし。

三爻、風澤中孚 誠あるの卦にして心中正直丁寧なれば吉とする、我邪のことに此れを得たならば大凶目前に来ると知るべし。

四爻、乾爲天 公家大名以上の貴人には吉なれども平人には凶、其中に學者或は出家などには吉事と見ることもあり、理義を明にして見合せて吉凶を斷るべし、△萬事すゝむ事凶退くに吉、

五爻、山天大畜 龍の山中に潜み居て震ひ起きらんとする卦なり、故に物に忌嫌ひあり畏意あり。△物の喪増の意あれども又壞るゝの障りがある。

六爻、水天需 諸事急にすることは成就しがたく其の上却つて難儀に逢ふころあり、ゆる／＼爲るときは吉也、需は待也物を待つて居る意にすべし。

三三 天澤履

此卦を得る人は禮道を主として、心貞正なれば立身發達の兆ありて、人をも敬し人にも敬せらるゝなり。此卦衆兌の至柔を以つて、願の至柔に迷ふ故に至弱の後、剛暴の君に事ふ是を以て履所甚だ危しと雖も柔順なれば終に亨通するなり。唯常人は不慮の災ひを用心すべし。自分の利發才覺を現はさんとすれば害を招くと知るべし。○天時は曇りてふらず、遠からず雨なるべし、○願望は人の教示に順ひて叶ふの兆あり、○待人來らず、○婚姻成らず、○生産は障あるべし、女子ならん。○得物は宜し、○病は長し、危し、○醫師戊亥の方宜し、○失物出る急に尋ねべし、○變宅凶し、○訴訟は甚だ危し、和藪宜し、○走人は戌亥の方歸らず、○旅行は險難にあふ、○仕官は宜し、正順にして勤むべし、○抱人は長く居ることなし、○賣買は利なし、常を守るべし、○高下は多分下

ると知るべし、○人に従ひて進むに吉、退くに凶、又人のあとをあげつぐに吉、人より先に進むに凶。○好色のなやみあり。

(参考)

白蛾先生解、危き意ありて傷れず、をどろく意ありて安し、然れども初めて事をはかるみな安からず、△人に従ひて進むに宜ろしく退くに宜しからず、又人の跡をうけつぐに宜しく人より先に進むに利しからず△好色の悩みあり又は憂悶の意あり、

變 卦

初爻、天水訟 相交らざる義にして背争の卦、諸事調ひがたし△心身安からず憂ひ悲み多し。△疑を受く事ありて親を失ふの義がある、

二爻、天雷无妄 石中に玉を蒞むの卦なれば諸願叶ひがたし、時至らざるに知るべし、△迷ふて多

く仕損することあり、△思ふこと一切通しがたし強てすれば却つて災を受くべし。

三爻、乾爲天 萬事すゝむこと凶退くによろしく、物事難義なる心あり、道中など事は凶。

四爻、風澤中孚 誠あるの卦にして心中正直丁寧なれば吉となる、我邪のことに此の卦を得ば大凶目前に來ると知るべし、

五爻、大澤睽 人心相乖き違つて事の成りがたき卦なり、然れども學者などには時として大吉ありとする、△争論口舌を慎しむべし。

六爻、兌爲澤 喜びの顯はるゝ善き卦なり然れども物事取りしまりなく、埒の明かぬ意あれば考へ合せて斷すべく、又外見は宜しく内心の宜しからぬ意あり例へば佞人の如し、△人の聚る義あり△口舌ごと有ると争ごと知るべし。

☶☵ 地天泰

此卦は貴人きじんには吉事とすることあれども、常人には不相應ふそうおうにして、居住等安からぬこともあるべし。又女難にょなんに遇んか慎みて宜し。又今は安泰あんたいに居るといへども、泰平たいへい長ければ亂來みだれきたつて又長き理あり、何不足なにふそく無き時宜しく亂みだれに備ふるの設けして、正實せいじつを以て衆に交り和惠わゑを以て親族を率ひ、内外の破れを防ぐべし。泰平たいへいに耽り、驕奢けうしゃ情弱じやうじやくにして謹慎かんしんを忘るゝときは、程なく否の閉塞へいさいにあふて、國事通ぜず滅亡めつぼうを取るべし。○天時は雨程なく晴る。○願望調ふ、然れども半に於て障あり、○待人來る。○婚姻調ふ。○生産安し、男ならん。○得物は得べし、○病は危し、明夷大壯臨に之けば死すべし、○醫師は未申の方、○失物は戊亥の間、物の下にあり、○變宅は宜しからず。○訴訟は

扱あつかに任せて言、○走人は未申の方、○旅行障なし、○林官は謙遜正直の人吉、○抱人宜し、長くは如何。○賣買は必用日用の品は利あり、他は損、○高下は今高ければ大に下るなり。○心中なやみ多く諸事表向はよく見えて内は宜しからず、○家事又女について口舌あり、○住居安からず、○親子兄弟など總じて身代のことに就いて世話ありと知るべし。○新規に事を起すは宜しからず、終り大破の兆。

(参考)

日蛾先生解、奢侈安逸の意とす樂きわまりて哀生じ、又月望を過ぎて暗に向ふの意解とす、△衆を論すれば賤しき者貴きを侵僭する、△總じて家事女に於て口舌あり。

變 卦

初爻、地風升 草木の地中に有つて次第々々に地上に發達するの意にして、段々と立身出世するの

卦なり△心中安寧ならず然れども漸々吉事あり。

二爻、地火明夷 日の地中に入りて分明ならざるの意なり、故に人も思ふ處を失ひ難儀迷惑することあるべし、夷は傷とよむ字にて仕損じある意に通じ、何事も慎しむべし然れども始め困窮して後に榮花する卦なれば終には立身出世とす。

三爻、地譯將 貴賤相交りて親しむ卦なり、故に物ごと柔和にして吉剛氣あることあし、横合より難澁など云ひかけられ苦勞することあるべし。

四爻、雷天大壯 陽の盛に長ずる卦なれば諸事過あつて苦勞難義に遇ふべし、△無理非道を云つて勢つよき人の爲めに辛苦することあるべし。

五爻、水天需 諸事急にすることは成就しがたく其の上却つて難義に逢ふことあり、ゆるくと爲るときは吉也、需は徳なり物を待つて居る意にすべし。

六爻、山天大畜 龍の山中に潜み居て震ひ起らんとするの卦なり、故に人も住所に付て望みごと苦

勞あるべし。

三三 天地否

此卦は物事塞ぎて通ぜざる義にて、心中思ありて通ぜず、又上たる人より疑を受くるか咎に逢ふことあるべし。或は親しき人と心を隔るか口舌の障あらん。然れども温淳に勤め怠らざれば、時月を累ねて後吉兆あるべし、又婦人の爲に害にあふこと來んとす、必ず是をさけて宜しく争論を慎しむべし。○天時は曇りてふらず、上卦變に依つて晴る、○願望急に叶がたし、○待人來らず、无妄に之けば來るべし、○婚姻決して成らず、○生産平、○得物は得がたし、待つべし、○病は死す、變に依て治す、○醫師は未申の間よし、○失物出でず、○變宅は決して凶、○訴訟は利なし、理を以て非に落つ、○走人西南にかくれて知れず歸らず、○旅行甚だ危し、止めて可なり、○仕官は

時を待て宜し、○抱人は見合せて可なり、○賣買は景氣を見て待つべし、○高下はすはり。

(参考)

日蛾、先生解 凡そ事の始めは皆乏しくして足らず、窮して達せる故に頼めども人したします、説とも人うけかわす、是終の時なり、然して天地は隔て以て萬物を生育す、故に即事の占ひには否塞不通の意あれども將來のことには通達成就の義とす吉なり。

變 卦

初爻、天雷无妄 天理に順つて動くの義によつて无妄と云ふ、免るゝことなきは調なり、誠にして凶なることはなし、然れども當世の俗誠をたもち慎しむ人は少し故に過年は凶也とす。
二爻、天水訟 相交らざるの義にして背争の卦なり、△心身安からず憂ひ悲み多し。
三爻、天山遯 諸事間違ひあるの卦なり、△物ごと成就の如く見へて皆調ふことなし、却つて損凶

し又難義することあり、△即ち事の輕きことには用ゆるも可也。

四爻、風地觀 大凡吉、然れども晴天に雲の起るが如く思ひよらぬ事ども出来し苦勞することあるべし、然れども人に仰ぎ尊ばるゝの意ある卦なれば又外より能く世話しの魂にあづかるべし。

五爻、火地晋 朝日の登る衆ありて次第々々に繁昌し立身出世に赴く意あり、又人より親しみ敬はれ上たる人より恵にあづかる卦なり、

六爻、澤地萃 物の聚會して繁昌するの意あり、諸事吉とする。

三三 天火同人

此卦は表は剛健にして聰明柔順なり、然して又材あつて貴となく賤となく交り厚し故に迭に施し

恵むの情あれども、性急にして少し疎しき生得なり。若し大人にして此卦を得れば士悉く歸服し相營する意上より下を慈しむの衆、小人此卦を得れば大人より慈愛を受くるの意あり、當世の人に依れば常に人と交り厚く立身發達の兆あり。商賈の人は家門繁榮の吉占、婦人に於る慎しみ薄し不貞の象とす、故に屢々人より謗を受くることあり。固より聰明才敏なるが故に却て夫に代り家事を勤むる意あるが故に時に應じて嬾婦の斷あるべし。天時はふるとも、ほどなく止め又酉の日なればふる、○願望正しきことは叶ふ、○待人同伴し來る、○婚姻とふ、されども直々より望みたる人か、○生産安し、男子なり、然も家を興す人に成るべし、○得物は私欲なれば、必ず得る兆あるべし、○病は長引く、遯无妄草は死すべし、○醫師は巳午北方を禁すべし、○失物出る南にあり、○變宅は衆人の意を聞て吉、○訴訟は和平に宜し、○走人は同忘あり。不遠して知るなり、○旅行同行あれば大に吉、无妄に之けば凶なり、○仕官は戌亥吉なり調ふ、○抱人宜し、○賣買は一人利を得んとすれば損多し、○高下は大抵上る遯の變は下ると知るべし。

(参考)

日蛾先生解、出世發達の卦なり百事成るべし、然れども始は少しく妨げあり疑あり、又身しりぞくの意あれども禍には至らず。

變 卦

初爻、天山遯 思慮分別も定らず諸事に付て間遠ひのある卦なり、△物ごと成就のごとく見えても皆調ふことなし、却つて損凶し又は難義することあり、△即事の輕きことには用ふるも可なり。
 二爻、乾爲天 貴人には吉なれども平人には凶也、△萬事進むこと凶、退くに宜し、損失あり又盜難を防ぐべし。
 三爻、天雷无妄 石中に玉を蓋む卦なれば諸事叶ひがたし、時至らざること知るべし、△思ふこと一切通しがたし、強てすれば却つて災に受くべし。

四爻、風火家人 家内安寧するの卦なり、萬事婦人によること姉女を以つてすれば吉、△家事の世話あるべく又立身出世の望あるべし。

五爻、離爲火 離別の卦なれば親子兄弟或は親しき朋友などに別れ離るなり、然れども學者出家などには大に吉とす大いに人に用ひられ名を發することあるべし、△常人には大抵宜しからず、△罪を受け咎に遇ふことあり慎しむべし。

六爻、澤火革 萬事改革するに宜し、今までなす事の世に用ひられざるの類は速かに其の舊きを棄て、新しきことを成すべし。

三三 火天大有

此の卦は日の天上にありて照り渡る意にて、人の時を得たる卦なり。然れどもこれも位負けのする意あり、満つれば缺くると云ふ如くにて金銀等すべて損失あるべし、又親類朋友或は婦などすべて人事に付いて苦勞する事あるべし、○天時晴るゝ、ふりても忽ち止む、○願望は人と計るときは百事成り正直にして吉、○待人來る遅し、○婚姻遅し、外は美はしく内はあしき心なり、○生産安し、女子なり、辰巳酉の日か、○得物は多分得がたし、人々望むなり、○病危し、陰下足、○醫師は戌亥か南、○失物は後るときは出がたし、○變宅宜し、人と計るべし、○訴訟は理あれども、強てするときは難をきる、○走人剛情にして歸らず、西北の方、○旅行宜し春夏凶し、○仕官調ふべし、○抱人氣高き人ならん、○賣買當分利なし、○高下は大いに上る、久しからず。

(参考)

白蛾先生解、寛仁明白にして衆人の義に歸服するの意あり、當世の俗此の徳なしざれば凶兆△名ありて質なし小利に迷ふて勞することを重ぬべからず、死喪、疾病、破財等の憂患の兆貞慎すべし

變 卦

初爻、火風鼎 事を改むるに吉、舊きを捨て、新たに事を始むるに宜し△福を受くべし又親しき友を得べし。

二爻、離爲火 離別の卦親子兄弟或は親しき友などに別るゝ卦なり、△罪を受け咎に遇ふことあり慎しむべし。

三爻、火澤睽 人心相乖き違つて事の成りがたき卦なり、△爭論口舌を慎しむべし、△心中辛苦多く又財寶散亂することあり。

四爻、山天大畜 住所に付いて望むこと苦勞ありと知るべく、△争ひありて心定らざるの意がある△人物は性急なる生にして事を失ふべし。

五爻、乾爲天 萬事進むこと凶、退くに宜しく△物事難義なる心あり、△人の難を蒙むることを防ぐべし。

六爻、雷天大壯 諸事過ちありて苦勞難義に遇ふべし、△無理非道を云つて勢つよき人の爲に辛苦することあるべし、△短慮なることを慎しむべし。

地山謙

此卦は先に屈て後に伸るの卦なり、故に何事も調ひがたく苦勞多し、物事不自由なれども寛々として貞正を守りなば、終には願望通達し榮昌も招かずして到るの兆あり、○天時雨長し、夏秋は雷鳴あるべし、○願望正しきことは次第に叶ふなり、○待人遅し、卯未の日に來るか、○婚姻調ふ。

○生産は男子、月延べし安し、○得物は得る。○病治し難し、治するとも長し、○醫師は未申の方宜し、○失物は東北の間を尋ねべし、出る、○宅は人の意に従つて移るは宜し、○訴訟は扱に任せて可なり、○走人は山林の邊西南の方を尋ねべし、旅行宜し、同行あれば別して吉なり、○仕官は吉、諂ふことなし、正すべし、○抱人は蹇良の變は凶し、他は宜し、○賣買は利あり、正ふすべし。○高下は下る後上るべし、○諸事ひかへめにすることよし、又人に随つて吉、自身剛氣を出せば凶○辛苦難義を堪忍して、自ら正しきを守るときは不慮の幸福來る。

(参考)

白蛾先生解、徳有つて目卑ふにするの義である、山の高きを以つて地の下であり是識なり又福を益す卦なり、又始めなきが如くにしてよく終りあり百事吉、△辛苦難義を堪忍して自ら正を守るときは不慮の好事來る、△和順ならば必ず達事強情にして人とたかぶる意あれば大凶悔あり。

變 卦

初爻、地火明夷 思ふ處を失ひ難義迷惑することあるべし、夷は傷とよむ字にて仕損じある意に通じ何事も慎しむべし、然れども初め困窮して後に榮花するの卦なれば終には立身出世とす。

二爻、地風升 草木の地中にあつて次第に地上に發達するの意にして、段々立身出世するの卦なり△心中安寧ならず然れども漸々吉事あり。

三爻、坤爲地 地の徳にして萬物を生養するの理あり故に人事に世話苦勞ありと知るべし。

四爻、雷山小過 鳥の飛ぶを目に見て其の聲を耳に聞けども手に取ること能はず、此意にて萬事調ひがたし。

五爻、水山蹇 龍の珠を失ふ意にして寶散財貧にして辛苦あり、難甚たしき卦なり、△物事窮窟なる意あり。

六爻、艮爲山 止まるに宜く進むに損あり、又憂喜の二山重ひたるの義とする、されば物ごと半ば

調ひ半は通達しがたし。

三三 雷地豫

此卦は雷地上にふるひ出で大いに登るの時なれば、人も立身出世の悦びありとす、然れども常人筮し得ては是又不相應にして我意を以て事をし倦怠することなく、舊業を守りて妄に進むこと勿れ損毛口舌心配出来るなり、○天時夏秋は雷雨あり、餘は晴るゝ、○願望叶ふ、○待人來る、○婚姻調ふ、○生産安し初産は男子、○得物は得べし、夏秋は宜し、○病重し治す、○醫師は東北方、○失物空し、○變宅宜し、貴人は大吉、○訴訟は和懇を要とす、○走人は東に出西南に止まる、○旅行宜し、○仕官大に吉正し、ふして宜し、○抱人宜し、秋は止てよし、○賣買は人に計りてよし

○高下は上る、秋冬は居り、○住居かはることあり、又住所に苦勞あり、○新規に物を取組む意あり。

(参考)

白蛾先生解、萬物和順し人心和樂して相應するの卦とする、然れども常人の如きは吉兆あれども幸慶なし△怠なり厭なり驚なり、大抵常人は住居安からず家屋繁昌せず、或は郷里をはなれ迷ふの類破財を兼ねる義あり是又一斷知せねばならぬ。

變卦

初爻、震爲雷 聲ありて形なきの卦なれば吉凶ともに初めて聞くほどにはなしと知るべし、△驚くことあるべく、物の變動なる意あり又躁しき意がある。

二爻、雷水解 魚の網を逃れ出でたる意にして難み解散するなり、故に人も難義なる所を遁れ出る

卦なり然れども能々慎しまざれば又再び禍ありと知るべし。

五六

三爻、雷山小過 大いなる禍はなけれども常に苦勞氣がね多く我が身が我が心に任せぬ意がある、物の十分に満とすれば又不足のこと發し調ひがたき卦なれば小事には宜し大事には宜しからず。

四爻、坤爲地 人の事に世話苦勞ありと知るべし、人に迷はさるゝ事を慎しむべし△衆の義ありて力となる人を得ることがある。

五爻、澤地萃 物の聚會して繁昌するの意がある、諸事に付て吉とす△中絶の人に廻り逢ひ又親しくなるの意あり。

五爻、火地晋 次第々々に繁昌して立身出世に赴くの意あり、又人より親しみ敬はれ上たる人より恵にあづかる卦なり。

三三 澤雷隨

此卦に逢ふ人は柔和なれども短慮にして心騒がしく、假にも物に心動き何事も人に従ふ氣性ゆる善惡邪正の差別なく妄に従ひ交るゆへ終に口舌非謗の障となる、女難色情を防ぐべし、唯正實にして惡を避け善事に従ふときは終に吉兆譽あり、○天時雨あり、程なく晴るゝ夏秋は雷なり、○願望大抵叶ふ、正しふして可なり、○待人來る、同伴あるか、○婚姻調ふ宜し、○生産女子安し。○得物は得べし。○病は長し。○醫師東北の方宜し。○失物水中にあり。○變宅宜し。○訴訟咎なし。○不正の人和談に如かず。○走人東北歸る心あり。○旅行大抵宜し、震に之けば止て宜し。○仕官吉正しふして可なり。○抱人秋冬は可ならず、外は宜し。○賣買我意を出すは損あり、待つて利あり。○高下上りそうにして上らず、後上るべし。

(参考)

白蛾先生解、慾に従ひ不義に動く意あり、△心中多情を含みて安からざるの意あり△財事を求むるの類成るべきの兆△牛馬に物をつけて遠方へ通ずるの意あり、

變 卦

初爻、澤地萃 繁昌するの意あり諸事に付て吉、金銀財寶集まるの意あれども争論の障りあり慎しむべし。

二爻、兌爲澤 幸ひの顯るゝ卦なれども然れども物事取りしまりなく埒の明かぬ意あり、考へ合して斷すべし、外見は宜しく内心の宜しからぬ意あり△人の衰る義あり、

三爻、澤火革 萬事改革するに宜し、今まで事の世に用ひられざるの類は速かに其の舊を棄て新らしき事を成すべし、

四爻、水雷屯 草の始めて生じて伸びざるの意にして、萬事に付いて其兆あれども相談ごとの類取りしまりなき意あり△天運いまだ臨みならず物ごと遽かに進むこと利しからず、

五爻、震爲雷 本祥福ありて繁昌の卦なれども常人には大抵宜しからず、聲あつて形なきの卦なれば吉凶ともに初めて聞きしほどにはなしと知るべし、
六爻、天雷无妄 天理に順つて動くの義によつて无妄と云ふ、免るゝこと無きときは誠なり、誠にして凶なることはなし、然れども當世の俗誠をたもつもの少し、故に此の卦を得る人過年は凶なりとす、

山 風 蠱

此卦は山中に風を含み將に吹出さんとする勢あれば、總じて内より事敗るゝとす。然れども事の敗も極れば又調ふの理あり、因つて貞固に慎しみあるの人は後の吉兆あるべし。只短慮を慎しみ温

柔にすべし。○天時雨ふる。○願望叶ひがたし。○待人來らず。○婚姻大いに凶なり。○生産安からず、子も何か異なる方なり。○得物は宜し。○病長し、不治か。○醫師は辰巳。○失物は丑寅、損じてあり。○變宅は大凶。○訴訟は和平して可なり、危ふし。○走人歸らず丑寅。○旅行は凶なり、止て可なり。○仕官は凶。○抱人持たず。○賣買は賣つてよし、買つて損ある兆。○高下は上ること遠からず今は大に下る。○常々親しき人に遠さかるの意あり。

(参考)

白蛾先生解、蠱は壞るゝなり亂るゝなり、又人を惑はすなり、又卦たる上下交る事蠱壞を直す、又上は止りて教へず、下は卑弱にして慢るみな蠱の義なり又亂れまわりて治まる故に事を通す。

變 卦

爻初、山天大畜 物に忌嫌ひあり又畏るゝ意あり、物の聚増の意あれども又壞るゝの障りあり。

二爻、火山旅 始め宜しく後に悲となるの意あり萬事に付て慎しむべし、△又月の半開の意もあれば小事には宜しき義あり其の占ふことに付て斷すべし。

三爻、山水蒙 物の明白に決斷して相調ふこと成りがたきの卦なり、然れども段々と宜しきに向ふと知るべし、急にすること皆宜しからず、

四爻、火風鼎 舊を捨て新たに事を始むるに宜し、△爭論を慎しむべし△福を受くべし又親しき友を得べし。

五爻、巽爲風 通達の意ありて思ふこと遂ぐるの卦なり、然れども横合より障りありて事を仕損ずるなり、兎角人に順ひてするに宜し。

六爻、地風升 草木の地中に有つて次第に地上に發達する意にして數々立身出世するの卦である、△心中安寧ならず、然れども漸々吉事に向ふことがある。

三三 地澤臨

此の卦を得る人は言語の才ありて、心柔和にして世人の交りよけれども、常に望み絶えざるの性質なり。故に大望を企て衆人を靡かすの思あれども、未だ心中に含み口外にもらさず、然れども先達の人を以つて隨身の思なきときは事遂げがたしとす。若し高貴の人は家榮へ人の出入多く、然して家の高姓を立てるか兩業を兼業するの意あり。○天時雨ふる。○願望叶ふ。○待人來る。○婚姻調ふ。○生産男子、安し。○得物は得べし。○病は治す後に用心すべし。○醫師未申の間宜し。○失物西南出づべし。○變宅宜し。○訴訟は理に慕ること大いに凶。○走人同行ありて他に去らんとす。○旅行苦しからず。○仕官は貞正他と競ふこと勿れ、吉。○抱人長く保たず。○賣買利あり、貪る

べからず。○高下は上る。○横合より難澁など云ひかけられ苦勞することあるべし。然れども人より取立てらるゝことありて安居するを得べし。○人に迷はされて進む意あり、故に女難を慎しむべし。○財事を求むるの類なるべし、二つあれば一つなるべし。

(参考)

白蛾先生解、必らず願望ある所あり内鋭で外順ふ百事吉、△進んで物に凌ぎせまる意義がある、△聚る意と益す意と進む意をかねたり、よれば臨は大なる説あり大に至るの義がある、事々に於て活斷すべし。

變 卦

初爻、地水師 大人の徳あつて忠臣孝子なれば吉、常人には大抵吉ならず、△爭論を慎しむべし。△人になやまさるゝ意あり又人を寄するの意がある。

一爻、物盡きて 又始まる卦なれば一度はあしくとも復吉事に向ふ時節にして諸事思ふ所を成就すべし。

三爻、地天泰 心中なやみ多く諸事表向は宜しく見ゆるとも竟には宜しからず。

四爻、雷澤師妹 此の卦は不意に禍ある卦なれば慎しむべし、△相談契約其期を失ひやぶるゝの意あり。

五爻、水澤節 物ごと滞つて阻あるの卦である△又自然に程能き意も有つて物に違ひ背くことなく通ずるとも見るべし。

六爻、山澤損 本と減少にて物の損失の卦なれども今日の人には却つて宜しとす、△後に利徳を得るか又は譽れあるか何れにもせよ末には宜しきことがある。

三三 風地觀

此の卦を得る人は柔順にして氣象高尚なるを以つて人を尊敬し仰ぎ望む意あれば、其身自ら謙遜にして事を謀るときは吉なり、假令新規の望ありとも調ひ難し、若し調ふとも利あらずして、多くは人に迷はさるゝか又誘を受くることあり、慎しみて妄動すべからず。固より破財散失の兆あり、只外誘を防ぎ、非意の損財を防ぎ人より防げらるゝ等の事を用心すべし。○天時は雨ふらず、風、○願望父母君と神社の事等信仰して叶ふ、○待人來る、○婚姻己より信を以つて必らず成る、○生産安し、男子、○得物は正しければ得べし、○病治す、○醫師は未申、○失物空し、○變宅苦しからず、○訴訟は不正なれば凶、正は宜し、○走人は歸らず、未申より辰巳、○旅行は宜し、○仕官は貞正の人は吉、○抱人容貌大いに宜し、糺すべし、○賣買正實なれば利あること必ずせり、○高下は上る。

(参考)

六六

白蛾先生解、中止の徳を以つて人に示すこと有つて人に仰がるゝ卦である、此義に當らず又才藝能を以てせば可なり其他は虚をうりて錢を求め身を飾り又人を迷はす意がある。

變 卦

初爻、水電屯 草の始めて生じて未だ伸びざるの意である、萬事に付いて其の兆はあれども相談ことの類取しまりなき意がある。

二爻、坎爲水 (坎爲水の脱明を缺くるべし)

三爻、水山蹇 (同上)

四爻、澤地萃 (同上)

五爻、坤爲地 (同上)

六爻、水地比 (同上)

() () () () () ()

三三 火雷噬嗑

此の卦を得る人は短慮にして己が勢旺盛なるを以つて、妄りに進んで事をなさんとし、人の性に悖り逆ふ意あれば災ひ一時に来るべし。生涯の占ひに於ける子孫断絶の義を断ず、總じて口舌争訟公難慎しむべし、蓋し仕官の徒は威勢ありて功を得ることあり、活断あるべし。畜家は産業繁榮の兆あり、心中怠るべからず、凡そ物始め有つて終りなきの卦たり、○天時曇る雷、○願望妨あり。○待人來らず、約ちがふ、○婚姻調はず、○生産碍あり、男子、○得物は得べからず、○病は口中の病なれば長し、○醫師は辰巳の方宜し、○失物出ず、變宅凶し、止めて吉、○訴訟は正理ならば強ひて訟るも利あり、○走人南に在り、隠す人あり、○旅行途中に凶あり、○仕官妨げあり、宜しからず、○抱人大いに凶、逆ふ心あり、○賣買篤を守つて正に宜し、○高下は上る。

六七

(参考)

白蛾先生解、集衆して繁榮の義あり、甚だ進むに利しからず甚だ退くに利しからず、利欲のために禍を受くることあり、不慮の災難を防ぐべく、女難争論を慎しむべし。

變卦

- 初爻、火地晋 (火地晋本卦の説明を見るべし) ()
- 二爻、火澤睽 (同上) ()
- 三爻、離爲火 (同上) ()
- 四爻、山雷頤 (同上) ()
- 五爻、天雷无咎 (同上) ()
- 六爻、震爲雷 (同上) ()

三三 山火賁

此の卦を得る人は聰明にして善美を好み、身體自然に威嚴を備へ衆人仰ぎ望むの象、然るに美に過ぎて虚誇、潤色の意あり、常に誠實を以て事を謀るに非ざれば遂に災害其身に及ぶ、老若男女共に短慮を慎しみ濃厚に事をなせば其災を免る又男女共に癩症に依りて美を好み不淨を忌む等は其人に於て活斷あり。蓋し此の卦に於て口舌争論公訟の義を防ぐべし。○天時曇る。○願望は小事吉、又學者大吉。○待人來らず。○婚姻調ふ、偽りなく談すべし。○生産女子、次は男子、安し。○得物は小分得べし。○病重く危し。○醫師丑寅の方。○失物出づべし。○變宅宜し。○訴訟宜し。

七〇
 からず。○走人南方にあり近し。○旅行遠國は凶、近所は宜し。○仕官正しき人は吉に向ふ。○抱人宜し。○賣買誠實なれば利あるべし。○高下は上らず。

(参考)

白蛾先生解、飾なり、かざるに類義あり身を修め家を齊へ文を學ぶ衣服家器等の美なる、みな實なり故に虚あり實あり、其の事義を審かにして活斷すべし。△山下に火をあげて山の諸物を見分かつの象あり、明遠くに及ばざるの義とする、故に小事は成るべし大事は調ひ難し。

變 卦

- 初爻、坤爲山 (説明は本卦と同じ、さればそれに付いて見るべし) () ()
- 二爻、山天大畜(同) (上) () ()
- 三爻、山雷頤 (同) (上) () ()

- 四爻、離爲火 (同) (上) () ()
- 五爻、風火家人(同) (上) () ()
- 六爻、地火明更(同) (上) () ()

三三 山地剝

此の卦を得る人は榮枯浮沈ありて身心安寧ならず。表は剛健にして内心柔順なり。故に人の親しみ助くる意あれども運つたなしとす破財に至て新規に事を望むか舊きを捨つるの意あれども輕卒に謀るべからず。又産業に望みありとも専ら人に従ひ謀るに利あり。家屬及び從者に付き損失災患多し、衆陰下に在つて力たらず、是を以つて羽翼となるべき徒なく却つて其の身を剝奪するの理あり

○天時大いに降雨中は即ち晴る。○願望叶はず。○待人來らず婚姻調ふ宜し。○生産男子安し。○得物は得がたし。○病は長く危し、老人は死す。○醫師は丑寅。○失物出でず丑寅大いに損す。○變宅宜し近所の人に計るべし。○訴訟は大凶、扱に任すべし。○走人丑寅の方、歸らず。○旅行止て可なり。○仕官凶あり。○抱人主を悔る、大凶。○賣買利なし。○高下は上る、家澤山。

(参考)

白蛾先生解、剝は削なり裂なり物の形の更るなり。故に事を改め身を改むるに宜し然るに物の空中にかゝりたる象なれば、人も必らず心中多情を含んで萬事猶豫して思慮未だ決定せず故にその度を失はんとするときなり卒爾に事を變動すべからず、必らず吉兆あらん、その信に應じて成るべし
△又剝は脱也憂患をのがれ出る意とする。

變卦

初爻、山雷頤 物の成就する卦なれども然れども時節でまた早きの意があり、急にすることは宜しくない又此卦は誤かしき意あれば公事口舌女難等を慎しむべし。

二爻、山水蒙 物の明白に決断して取調ふこと成がたき卦である、然れども次第々々に宜しきに向ふと知るべし、△物の數々の雜ひる象なれば人も世話苦勞多々ありと知るべし、然れども一つづつ物を分つが如し終には思ふことを成就すべし。

三爻、艮爲 山止まるに宜しく進むに損あり、又憂慮の二山重りたる義とする、故に物ごと半ば調も半ば通達しがたし△危き難義又は金銀財寶に損あり、然れども外より救ひたすくるの意がある。

四爻、火地晋 朝日の登る象ありて次第に繁昌し立身出世に卦意あり、又人より親しみ敬はれ上たる人より恵みにあづかる卦である。

五爻、風地觀 大風吉然れども晴天雲の起を如く思ひよらぬ事ども出来て苦勞することがある然れども、人に仰ぎ尊ばるゝの意ある卦なれば又外より能く世話し入魂にあづかるべし。

六爻、坤爲地 地の徳にして萬物を生養するの理がある、故に人の事に付いて世話苦勞ありて知るべし。

七四

䷏ 地雷復

此の卦は物つきて又始むるの卦なれば、一度は窮乏難義といふとも、誠實にして堅固に其分を守れば次第に人の助けありて諸願發達成就すること疑なし、又歸國參和談の類甚だ吉なり。されども今微力なれば急速にせず、漸々に事を成すべし。我意を張るときは發生又消亡するの兆あり、慎しみて可なり。○天は曇る、後雨ふる。○願望叶ふ。○待人來る、卯の日か。○婚姻宜し、口舌あるか。○生産男子、卯の日か。○得物は得べし。○病は長し、危し。○醫師東方よし。○失物未申

の方出です。○變宅宜しからず、止まりて吉。○訴訟必らず利なれども扱に任せて却つて宜し。○走人歸る。○旅行宜しからず。○仕官宜しく誠正なるべし。○抱人宜し。○賣買大利あり。急は凶。○高下は上る。

(参考)

白蛾先生解、復は反なり物過ぎ去つて復始まる也、又順を以つて動く故に吉なり、然るに凶年の後始と登り戦に向せ始めて平治せしが如く平安ならず、故に住所安からず不足の意がある△復は重也報也故に百事再三そへて成るべし。

變 卦

初爻、坤爲地 通達の意あり、然れども一たび動いて後靜なる意あれば損あつて後益あり、勞して後世やすし、

二爻、地澤臨 貴賤相交つて親しむの卦なれば物ごと柔和にして吉剛氣なることあし、横合より難澁など云ひかけられ苦勞することあるべし。

三爻、地火明夷 日の地中に入りて分明ならざるの意である、故に人も思ふ處を失ひ難義迷惑することあるべし。

四爻、本祥福ありて繁昌の卦なれども、是も常人には大抵宜しからず、聲ありて形なきの卦なれば吉凶ともに初めて聞くほどにはなしと知るべし、

五爻、此の草の始めて生じて未伸の意であつて、萬事に付いて其の兆はあれども相談ごとの類取りしまりなき意がある、

六爻、山雷臨 物の成就するの義なれども、然れども時節いまだ早き意があつて急にすること宜しからず、

三三 天雷无妄

此卦は正しきに非ざれば災ひ有つて身に及ぶと、甚だ恐るべく慎しむべきを知るべし、若し不正の事に此卦を得ば、往く所あるに利しからず、一切成るべからざるを謂ふなり、然れども事公理にて天にも恥ぢざる事は成るべき理あり、君父師を始め親族他人の事も餘義なきことは、身を入れて成せば成るべし、我意私欲不正の事は恐れ戒めよ、下人は印書等に付いて心配あるか、居住安かならざる思ひあるべし、○天時晴る、夏秋は雷、○願望公正の人は叶ふ、○待人來る、○婚姻調ふ○生産男子、賢人ならん、○得物は得べからず、○病は危し死なん、○醫師は東成亥○失物出がたし、○變宅宜しからず、○訴訟理につり却つて凶、和談に如かず、○走人は成亥歸らず、○旅行

見合せて宜し、○仕官正信の人は吉、○抱人は俗に云ふ一石ものなるべし、可なり、○賣買正直にせば大いに宜し、必らず利あり、○高下は上る、

(参考)

白蛾先生解、无兇は誠實の謂である、凡そ人動くに天を以つてすることを知らば待として吉ならざることなく、若し不實の事なれば天命にそむくとする、

變卦

初爻、天地否 物事塞つて通ぜざる義にて思ふやうに成りがたき義あり、上たる人より咎に遇ふころにあり然れども常人には吉とする、

二爻、天澤履 貴賤相交へて親しむ卦である、されば物事柔和にして吉剛氣なること悪るし、

三爻、天火同人 日の地中に入りて分明ならざる意である、されば人も思ふ處を失つて難義迷惑を

することあるべし、

四爻、風雷孟 本祥福ありて繁昌の卦なれども是も本人には大抵宜しからず、聲ありて形なきの卦なれば吉凶ともに初めて聞くほどにはなしと知るべし、

五爻、大雷金盃 草の始めて生じていまだ伸びざるの意にて萬事に付き其の兆はあれども、相談てとの類取りしまりなきの類なり

六爻、澤雷隨 少女の長男に隨ふの意がある、我動き彼説ふざれば隨を云ふ相互に通ずるの義がある△又枯木重茂るの卦なれば物の昔て吉なるべし、住所のかはる乎又は故郷を去乎變じて吉、

三三 山天大畜

此の卦を得る人は君子の容貌ありとす、然れども今人は妄りに利に奔り財を求め畜へんと欲すれば、却つて身の妨げとなり、或は人の親しみを絶ち人の誹謗を受くることあるべし、又短慮にして事を誤り義を失ふに至る、唯柔順にして人に従ふて事を成すに利あり、○天は雨當分なし、○願望叶ふ、不正の人は凶、○待人來らず、○婚姻調はず、妨あり、○生産安し、男子、○得物は得難し○病は陰不足、長し危し、○醫師は丑寅、○失物出ず、○變宅宜しからず、○訴訟宜しからず、○走人丑寅に止る、○旅行苦しからず、○仕官大吉、不正の人凶、○抱人情こはき人なり。○賣買人の下に附てせば利あり、○高下は上る、

(参考)

白蛾先生解、大人君子の如きは平なり常人には安穩ならずと知るべし、△此の卦必らず常居安穩ならず心中つねに思を含む、又は恨をいだくみな安氣ならざるの義とする、又は相旁盾の争論を慎

しむべし。交りをたつの意がある。

變卦

初爻、山風蠱 山中に風を含み吹出し壞るの意であつて諸事に付て難義迷惑することあるべし。慎しむべし。

二爻、山火賁 虎の林を出て遊ぶの象あり、物の美しく又威あるの意がある、立身出世あるべし、間ちがひにて人と中絶することあるべし。後に宜しとする。

三爻、山澤損 本と減省とで物の損失の卦なれども今日の人には却つて宜しとする、後に利徳あるか又は譽れあるか何れにも末の宜しきことあるとする。

四爻、火天大有 日の天上に有つて照出たる意であつて人も時を得たるの卦である。然れども是も位負けをするの意あれば滿れば缺くと云ふが如く金銀等すべて損失あるべし。

五爻、風天小畜 物こと塞り止まるの意があり、又目に見て手に取られぬ象なれば萬事急には調ひ

難し。

六爻、地天泰 心中になやみ多く諸事表面は宜ろしく見ゆれども意には宜しからず△毎事間違ありて苦勞あるべし、

八二

三三山雷頤

此の卦は養子の義にして物の成就する卦なれども、然し時節の未だ早き意あり、急に事は宜しからず。又此の卦はさわがしき意あり。故に公事口舌女難等を慎しむべし。○天時晴る。願望私欲のことは叶はず。○待人來らず。○婚姻調ひかけて不成。○生産男子、安し、少し碍。○得物は得難し、食物は得る。○病は長し。○醫師丑寅の方宜し。○失物出ず。○變宅正しければ吉。訴訟急に片付かず扱にすべし。○走人丑寅の方、山近きに止まる、尋ぬべし。○旅行途中に障あり。○

仕官少し滞るべし、待つてよろし。○抱人吉なり。併し外より邪魔あらんか。○賣買急にしては損失あり、見合はすべし。○高下は下る、

(参考)

白蛾先生解、頤はオトガヒなり、上良くて下うごく、下に動いて上に應ず、故に己れ勞して人に随ふの意又は頤に物を含むなり、されば多情の苦勞を含むと知るべし。

變卦

初爻、山地剝 楠木の榮花を發する卦なれば今より新規に物を取り始むるに宜し、然れども物の高き處より落ちる象あれば、人も身上の安堵ならずと知るべし、

二爻、山澤損 本と減省とで物の損失の卦なれども今日の人には却つて宜しとする、

三爻、山火賁 立身出世あるべし、住居を改むる意、家居所類器物に至るまで見事に飾るの意あり、

八三

四爻、火雷噬嗑 龍の譚にかくるゝ勢ある卦なれば短氣を慎みて温和にすべし、然らざれば口論公事訴訟等の障りあり慎しむべし。

五爻、風雷益 上下ともに動いて安徐ならず、故に住所安からず、心身定まらず、辛苦ありと知るべし。

六爻、地雷復 天より賁を得る卦なれば願望成就す△短氣を慎しむべし。

三三 澤風大過

此の卦に逢ふ人は秀才なりと雖ども、進退疑惑してやゝもすれば事をあやまり、又遊山玩弄風流の志ありて、武人は譽名なく、高貴は職業に疎く、然れども儒者出家に於ては吉兆とす。但し變に應じて活法ありと雖も、過半此の卦に於ける進退安からず、事疑惑して決斷する事難しとす。○天

時雨。○願望分に過ぐる、望み叶はず。○待人來る。○婚姻宜し成る。○生産女子、産後病あり。

○得物は半ば得るか。○病危し。○醫師東方宜し。○失物出ず。○變宅病難あり、凶し。○訴訟和

談してよし。○走人急に出がたし、南方か。○旅行見合せて可なり。○仕官吉なり。○抱人苦しか

らず。○賣買見合せ、待てば利あり。○高下は下る。

(参考)

白蛾先生解、過は物の宜を越すなり過ぎたるは猶ほさら、故に諸事調ひがたし常に不足の心を抱く、又自身愆を作る意がある△上下に又陰その重きにたへず、住居心身安からず思慮たらず迷ふの意がある、又危き意もある。

(變卦)

初爻、澤天夫 大器決斷の人品あれども、柔和にして堪忍することを得ざるべし△又人に好嫌ひあるべし、印書の類に付き苦勞することあるべし。

二爻、澤山咸 此の卦に面直にて物の速に調ふの卦である思はざるの吉事ありと知るべし。
 三爻、澤水困 困窮難議の卦であつて諸事に付いて不自由に我が志通達せず、苦勞の多き卦である
 四爻、水風升 段々と立身出世するの卦である。△心中安寧ならずと雖も漸々吉事がある、
 五爻、雷風恒 物の成長するの義があり、又物の散失するの意があれば、人事も亦此の如く聚ると
 思へば亦あつまつて定まらぬ意がある、
 六爻、天風姤 思ひよらずして會合するの意がある、相談ごとすべて人に頼ること調ふ、又此の卦
 物の聚散の意あれば、人も分別工夫定まらず迷ひ居るの意がある、

☵☵ 坎爲水

此の卦は貴賤となく運拙なきの卦なれば、常に心勞憂苦絶へず、又好色女難を防ぐべし。又住所

の勞ありとも猥りに變動すべからず。唯誠實にして時の至るを待つときは後大いに理運あるべし。
 ○天時雨長し。○願望叶はず、心を正しふして勤めば終に叶ふべし。○待人來らず、碍あり。○婚
 姻大凶、止まつて宜し。○生産難なし。○得物は得べからず。○病危し、命に碍なし。○醫師北方
 宜し。○失物水中に在り、北方。○變宅大凶。○訴訟和談にすべし。○走人北方に難義にあひて居
 るべし。○旅行大凶。○仕官見合すべし。○抱人宜し。○賣買大いに損失することあるべし。○高
 下は下る。

(参考)

白蛾先生解、坎は陷るのである、險である。實は虚の爲めに覆はれ、近きは遠きに隔てらるゝ意
 がある、住居安からずして常に憂ひをいだく、病難盜難又は非常にあふの意がある、△外誘をふ
 せぐ可し。

變卦

初爻、水澤節 物事滞りて阻あるの卦である△又自然と程能き意も有つて物に遠背くことなく、通ずるとも見るべし、然れども大略運の拙なき卦と知るべし。

二爻、水地比 親有つて人と相和樂するの卦である、されば知者朋友或は一家などより力を添へらるゝの義がある。

三爻、水風井 萬事改め變ずるには宜しからず、各々當然の職分を守り勤めて妄りに新規の事に取りがかりること勿れ皆損あつて益がない。

四爻、澤水困 困難難義があつて諸事不自由に我が志通達せず、苦勞多き卦である、住所を離るゝほどの辛苦がある、

五爻、地水師 大抵利しからず争論を慎しむべし、住所身心辛苦あり、人になやまさるゝ意がある、物の入組で解けがたき意がある。

六爻、風水渙 物の散解するの意があつて惡事の身を離るの吉兆である、然れども散亂の義あつて

損失あるべし、遠方に往來し又は諸事遠國より取結ぶこと皆障りなし。

三三 離爲火

此の卦は常人に於ては吉とせず、家居を離れ身を退くの辛苦等或は親しき人と口舌離別を含めり。學者出家は吉にして大いに人に登用せられ發達の占なり。但し女色を防ぐべし。平生短慮を慎しみ事躁妄ならず、柔和に人と交り急速に事を謀ることなかれ。○天時晴る。○願望正しきことは叶ふ。○待人來るべし。○婚姻宜しからず、保たず。○生産安し。女子なり。得物は南方より少し得る。○病危し。醫師南方。失物火邊にあるべし。○變宅動かすして宜し。○訴訟雙方剛情にして終に共に身上を亡すべし。○走人南方に在りて歸らず。○旅行一人は惡し、連あれば大抵よし。○仕官浪人は成るべし、新規は成るべからず。○抱人宜しき人なれども永住すべからず。○賣買進ま

ずして利あり、○高下は上る。

九〇

(参考)

白蛾先生解、離は附也別也、此の卦離別の義は人々にして是を斷ず、接するに始め附いて終りは離別す、百事首ありて尾なし、此の卦體は陰にして用は陽なり、故に外面盛んにして裏面は衰ふ、人事も此の如く譽信あつて心に實かあることなし。

變卦

初爻、火山旅 始めは宜しくとも後に悲しみとなるの意がある、萬事に付いて慎しむべし、又月の半開の意あれば、小事には宜しき義がある其の占ふことに付いて斷すべし、

二爻、火天大有 日の天上に有つて照わたる意であつて人も時を得たるの卦である、然れども是も位負けのする意がある。滿れば缺くと云ふが如くにて金銀等すべて損失あるべし、

三爻、火雷噬嗑 諸事人に隔たらるゝの意がある、然れども緊合せて通するの義あれば、始めには

調ひがたくとも後には調ふべし。

四爻、山火賁 虎の林を出で、遊ぶの象である、物の柔く又威あるの象がある、立身出世あるべし

△間違ひて人と中絶することあるべし。

五爻、天火同人 人心同じで親しみ深きの意がある、故に萬事に付いて立身出世あるべし、△人より取り立てられて幸ひあるべし。

六爻、雷火豊 盛大なる勢のある卦である、然れども餘りに大過にて却つて其の形を失ふ意に見るべし△思ひもよらぬ驚きあるべし、

三三 澤山威

此の卦を得る人は高ぶらず謙らすして人と能く交り、人も亦大いに親しみ互ひに和合す。是れ感

九一

あれば應あり。故に國事通達成就するの卦なり。然れども又色情に心を奪はれ、身の過ちとなり難義迷惑することあらん。能く慎しむべし。又家業藝術等も誠實にして己が爲すべきを爲し、守るべきを守るときは、百事吉兆ありと知るべし。○天時雨ふる。○願望身を省みるを急にせず、人より助けあるべし。○待人來る。丑卯午か。○婚姻必らず成る。但し初爻の變は保ちがたし。○生産二四六變れば女子なり。母子共に安し。○得物は真正なる人は得、未申の方。○病革に變れば醫を改めて、吉大過小は長し。○醫師は丑寅の方又未申の間にて擇ぶべし。○矢物少女少男に問ふべし、他より返るときあり。○變宅真正にして吉、次第に榮ふ。女難防ぐべし。○訴訟私なくして和順を以つてすれば宜し。大過に往けば凶。○走人連あり、知人此を告ぐる女人に索すべし。○旅行吉なり、塞を得ば凶なり止むべし。○仕官心を動かさずして上の爲めに信用惠恩を蒙る。○抱人大過塞に往けば凶、餘はよろし。○賣買小利を見急にすること凶し。○高下は秋は上がる、春は下るな

(参考)

白蛾先生解、咸は皆なり同也、易は末思ふことなく爲ることなし、寂然不動にして自ら天下の故に感通する者なり、咸を求むるに心あらば、即ち易に非ず、守心に従はず、心なきの感は應ぜざる所なし、而して後感動感通交感等の義あり。

變 卦

初爻、澤火革 萬事改革するに宜し、今までなす事の世に用ひられざるの類は、速かに其の舊きを棄て、新らしきことを成すべし。

二爻、澤風大火 何事に付いても不endirであつて思慮安からぬ意あり、我が思ふ所を強ひて行ひ人の相談を用ひずして後に大いに了簡ちがひて難義することあるべし。

三爻、澤地萃 物の聚合して繁昌するの意がある、諸事吉とする、金録財寶集まるの意あれども争論の障りがある△中絶離別の人に廻り逢ひて又親しくなるの意がある。

四爻、水山蹇 龍の珠を失ふの意であつて、寶散じ財貧にして辛苦あり、甚だ難しみのある卦である△又險を見て止まるの意があれば大凶はなし、人に隨ひて吉。

五爻、雷山小過 鳥の飛ぶを目に見、其の聲を耳に聞くとともに手に取ることが能はず、此の意を以つて萬事に付いて調ひ難し。

六爻、天山遯 此の卦退くと訓む字にて住所などに付いて辛苦することがある、多く思慮分別も定まらず諸事に付いて間違ひあるの卦である。

三三 雷風恒

此の卦は物の生長する義あり、又物の散失するの意あれば、人事も亦斯の如し。聚ると散り散れば集りて定まらぬ意あり。住所に付き苦勞あるべし。萬事に付き一分の了簡をもつてすること宜し

からず。新たに物を取り始むること宜しからず。吉凶とも久しくして後替る卦なれば、急にすること皆災と知るべし。○天時風曇りて雨ふらず、夏秋雷風あらん。○願望凡て遅し、急げば成らずと知るべし。○待人同志のもの妨ぐ、終には來るべし。○婚姻妨げありて成り難し、再嫁は調ふ。○生産母子恙なし。子午戌の日。○得物は解大過鼎に往くときは得る、他は得がたし。○病は長くとも癒るべし。○醫師北か未申、改まるは凶。○失物二爻三爻變する時は空し、辰巳の間。○變宅凡て凶。○訴訟和平を行ふべし。大壯に變じて大啓あり。○走人辰巳女子の便りをかりて知るべし。○旅行小大二過に變ぜば凶、體は宜ろし。○仕官調ふ。○抱人障なし。○賣買速にせば凶、舊きを守りて新たに就くべからず。○高下は次第に上る時を待つべし。

(参考)

白蟻先生解、恒は常久なり、石の如く金の如く思ふことは大いに非なり、恒は相生に循環して止まざるの義である△又た雷風に物相くみず、是れさんじに相別れる、故に住居安寧ならずして親し

き人に相別れ身心變患の兆又た破財虚動の兆、百事變じて後に宜しき義あり。

變卦

初爻、雷天大壯 諸事に付いて過ちありて苦勞に遇ふべし、或ひは住所を離れ安からぬことあるべし、無理非道を云ひて勢ひ強き人の爲めに辛苦することあるべし、

二爻、雷山小過 大いに過ち禍ひはないが、常に苦勞氣がねが多く我が身が我が心に付かぬ意がある、物の十分に満たんとすれば又不足のこと發し調ひがたき卦である。

三爻、雷水解 魚の網を逃れ出たる意であつて難み解散である、されば人も難義なる所を遁れ出づるの卦である、然れども能々慎しまざれば又再び禍ありと知るべし。

四爻、地風升 段々に立身出世することのある卦なり、住所苦勞があり、△心中安寧ではないが漸々て吉事がある。

五爻、澤風火過 何事も不定であつ相思慮安からぬ意がある、我が思ふ所を強く行ひ人との談を用

みずして後に大いに了間ちがひで難澁することがあるべし、大いに慎しむべし、表面は宜しくとも跡のなき意がある。

六爻、火風鼎 事を改むるに吉、即ち舊を捨て、新らしき事を始むるに宜しとす、爭論を慎しむべく、損失がある△福を受くべく又親しき友を得るであらう。

三三 天山遯

此の卦は進みて利あらず、退くに吉なり。尤も生涯種々の浮沈あるべし。貨財も失ふべく事の障り出来る事あり、恬然として驚くべからず、終始を考へて之れを防ぐべし。○天時三日を出ずして雨ふる。同人旅は晴る。○願望速かに成さんことを欲すれば不正なり、大道を忘る勿れ。○待人遲し、後來る。○婚姻調ふべし。○生産安し。○得物はあせりては却つて宜ろし、安居して得べし。

○病大いに危篤なり。上爻變すれば死なん。○醫師戌亥か午かの間に人を得て後ち宜しと爲す。○失物西北か午か、後るゝ時は出がたし。○變宅宜しけれども、否に變すれば止まるべし。○訴訟裁判長引、和平を扱ふべし。○走人戌亥の間居を轉じて出づべからず。○旅行途中より障り出来て歸る、止つて吉。○仕官宜しからず。○抱人同人漸威にゆけば吉、外は止めて可なり。○賣買高値にして實は下るの兆あり。○高下は下ることあり。

(参考)

白蛾先生解、遁は退き避くるなり、又隠るなり、百事進むに利しからず、退くに利し、始むるに宜しからず止むによろし、△すべて斷絶の意とする△危ふき意あり頼む處みな空し。

變 卦

初爻、天火同人 人心同じで親しみ深き意の卦なり、故に萬事調ひて立身出世あるべしとす△人より取り立てられ幸ひあるべし。

二爻、天風姤 思ひもよらずして會合するの意がある、相談ごとすべて人に頼ること調ふ、又此の卦あれば人も分別工夫定まらずして迷ひ居る意がある。

三爻、天地否 物事塞つて通ぜざるの義であつて、思ふやうになりがたく我より上たる人より咎に遇ふころがある、然れども常の人には吉とする、

四爻、風山漸 山上に木を植えて茂生する意であつて人も立身出世ありとする。

五爻、火山旅 始めは宜しくとも後ちに悲しみとなることがある。されば萬事に付いて慎しむべし、又月の半開の意もあれば小事には宜しき義がある、其の占ふことに付いて斷ずべし。

六爻、澤山咸 感通とて物の速かに調ふ卦である、思はざるの吉事ありと知るべし。

三三 雷天大壯

此の卦を得る人は大量にして、意あるが故に人に施し恵む意あれども、一知慮にして物に忌嫌ひありて、偏にして心屈し又た悦ぶこともあり。又た口舌争論或ひは人の心を探り又探らるゝ意あり。升進平人は産業に疎く適半業をなせば大望を一時に發せんとして却つて事を愆りて悔あり。然れども慎しみ厚くして溫柔貞正の人は貴富共に帯び、繁榮の兆たり。必らず他を侮り威に誘るべからず。○天時春冬は晴、夏秋は降、恒豊にゆけば雷あり。○願望恒豊缺けば成るべし、他の變爻叶はず。○待人同行共に來る、歸妹と泰は來らず。○婚姻恒泰は成るべし、餘は調ひがたし。○生産平。○得物は豊泰にゆけば得るとあり。○病危篤の證豊大有にゆけば死す。○醫師北方に求むべし、南は大いに凶なり。○失物西北の間程すぎては出がたし。○變宅は宜しからず、春冬は可なり、人の意

見に任すべし。○訴訟強ひて爲せば理を失ふ、和熟すべし。○走人遠方に去る。○旅行見合せて可なり。○仕官常人は成らず、君子は成るべし。○抱人恒泰は宜し其餘は全ふからず。○賣買元下値なれば、此の先高く高くは後に下値。○高下はすはりなり、後に少しは上る。

(参考)

白蛾生先解、壯は盛大な強猛なり、此の卦酌あつて實なきが如く大吉に似て吉にあらず目に見て手に空しふする、事なかばにして親しみを失ふの意がある、人の爲めに屈伏せられ或ひは恨み或は怒るの意がある。

變 卦

初爻、雷風恒 思ひよらずして會合する意があり相談すべて人に頼ること調ふ、又此の卦聚散の義あれば人も分別工夫定まらずして迷ひ居るの意がある。

二爻、雷火豊 盛大の勢がある然れども餘り大過にて却つて其の形を失ふ意に見るべし、たとへば

水中の月の如く目に見て手に取るべからず此の意に考へ合すべし。

三爻、雷澤歸婦 不意に禍のある意あれば慎しむべし、悪人に阻へられ我が正直あらはれず難澁に遇ふことあり慎しむべし。

四爻、地天泰 心中になやみ多く諸事表面は宜く見ゆるとも竟には宜しくない、毎事に間ちがひがあつて苦勞あるべし。

五爻、澤天夬 大器決斷の人品あれども柔和にして堪忍することを得ざるべし、又た人に好き嫌ひあるべし。

六爻、火天大有 日の天上に有つて照りわたる意であつて、人も時を得たるの卦である、然れども金銀財寶すべて損失を注意すべく、又た親戚朋友或ひは婦人などすべて人の事に付いて苦勞することあるべし。

三三 火地晋

此の卦に逢ふ人は聰明にして柔順なり。一旦發達あれども常に美を好みて盛んに事を行ふときは終には日の地中に入るが如く砂財散失有つて心勞の兆あり。唯柔順にして諸人を包容し、或ひは人を先にして我れ其の跡を踐むが如くせば必らず富榮あり。但し婦女に困つて財を得べし。然れども不正非義にして幸ひを得んと欲すれば西に向ふて東に歩むが如し。國事一時に進んで事を遂げんとすとも、半にして遲滯あるべし。○天時雨晴れん、されども旅遷の動は曇りて降るべし。○願望未申の方に人を得、助けを得て成るべし。○待人來るべし。○婚姻吉。○生産平。○得物は正直なる人なれば必らず得べき兆あり。○病長引く老人は甚だ危し。○醫師南か戌亥の間に高名の醫あり。○失物は東方か西南の間、下き所にはなし。○變宅宜し。訴訟平常の貞實に在りて必らずかつ。○

走人ウツミ園ニふ人あるべし、急に知れがたし。○旅行は已より長上たる同行あれば宜ろし。○仕官順正なれば事必ずなる。○抱人カキヘビ宜し。○賣買次第に高直に趣く旅剝遷は損失○高下は買に利あり、必らず上る兆あり。

(参考)

白蛾先生解、晋は進むなり、日の地上に出るの象なり、故に晋は明の意あり、暗を出で、明に進み苦を出で、樂にす、む百事吉なり。

變 卦

初爻、火雷噬嗑 勢ひのある意なれば短氣を慎んで溫和にすべし、然らざざれば口論争ごと公事訴訟等の障りがある。

二爻、灰水未濟 物の成就するの意がある、未だ用を相なさず然れども是れより以後相交りて事を始むるの吉兆である。

三爻、火山旅 始めは宜しく後の悲しみとなることがある、されば萬事に付いて慎しむべし、心中浮きたる物の如く安かなると知るべし。

四爻、山地剝 槁木の榮花を發するの卦なれば今より新規に物を取り始むるに宜ろし、然れども物の高き所より落つる意もあれば、人も身の上安堵ならずと知るべし。

五爻、火地晋 朝日の昇る象ありて次第に繁昌し立身出世に赴く意があり、又人より親しみ敬はれ上たる人より恵にあづかる卦である。

六爻、雷地豫 悦びの義あり、雷の地上に奮ひ出て天に登る時である、人も立身出世の悦びありとする住居かわること有り又は住所に付いて苦勞がある。

䷔ 地火明夷

此の卦にあふ人は其の時變を察し、才徳をかくし只管自身の名望を欲せず、暫らく愚暗に居て進まず動かす、其の常を守りて難苦を凌ぎ他の傷害を避くべし。然しながら此の卦を得ては必らず公難破財或ひは女難争論等あるか又住居を退くの辛勞あり。然れども其の身一分の思慮を用ひずして、衆人に従ふときは遠からずして幸度あるべし。○天時雨ふる。○願望妨ぐる者あり、推して事を爲せば凶。○待人差障り出来て來らず。○婚姻もつれたる縁にして終に調はず。○生産凶。○得物は障り有りて得がたし、口論を慎しむべし。○病體豊にゆけば死す、外は危し。○醫師北方宜ろし。○失物物に掩れて有らん、急には出がたし。○變宅は泰復にゆけばよし、他凶動くこと勿れ。○訴訟和平を爲すべし、急には裁決なし。○走人西南より歸るか、早速出されば危ふからん。○旅

行凶。○仕官貞正なれば成るべし、されども遅し。○抱人宜しからず。○賣買心任せにすれば損なり、舊を守るべし。○高下は景氣宜しけれども段々下る。

(参考)

白蛾先生解、夷は傷なり、思慮決せず住居辛苦あり不慮の災難まぢがひあるべし。然れども内に朋、外に順ふ又た平易の義がある、されば久しからずして吉、人の爲めの疑ひをさくべし。

變 卦

初爻、地山謙 先に屈つて後に伸びるの卦である、故に始めには何事も調ひがたく苦勞すること多く、物ごと不自由なれども後には利きこと必らず來る。

二爻、地天泰 心中になやみ多く諸事表向は宜く見ゆれども、竟には宜しからず。

三爻、地雷復 物盡きて又た始まるの卦なれば一度はあしくとも復吉事に向ふ時節であつて、諸事思ふことを成就すべし。

四爻、雷火豊 盛大なる勢ひがある、然れども餘りに大過にて却つて其の形を失ふ△思ひもよらぬ驚きあるべし。

五爻、水火既濟 物の亂るゝ始めとする一旦は成就することがあつても、末には破るゝの意がある慎しむべく、又た今より後の變る卦なれば油断なく真正を守るべし。

六爻、山火賁 虎の林を出で、遊ぶの象あり、物の美しく又た威あるの意がある、立身出世あるべく、間違て人と中絶することあるべし。

三三 風火家人

此の卦にあふ人貞明和順ならば必らず尊上の恩望深きが吉相疑ひなし。又性急にして舊を捨て新たに付くが如き大凶あらん。常人は深く慎しむべきの卦なり、又金錢を失ひ婚姻養子杯のことに就

き苦勞あるべし。兎角物に疑惑すること宜しからず。○天時曇りてふらず。春夏は晴。○願望長上に任せて吉。○待人午の日に至つて來るべし、同伴あり。○婚姻よし。○生産安し。大抵は女子か巳午の日ならん。○得物は東南にあり。外は得がたし。○病長引死せず。○醫師東南の方、老醫に如くはなし。○失物辰巳午を尋ねべし、遅し。○變宅真正の人は後に宜ろし。○訴訟勝利なり。○走人東南の方、遠方に去る。○旅行同行あれば吉。○仕官南方は宜ろし、夏は成らず。○抱人見合すべし。女なれば宜ろし。○賣買性急なれば損、後によろし。○高下は急なるは凶し、次第に上るべし。

(参考)

白蛾先生解。家人は家内よく齊ふて親しむの意あれども當世の人此の如くなる者よくなし。故に大要家内穩かならず憂苦たへず△爭論口舌を防ぐべく又女難を慎しむべし。

變 卦

初爻、風山漸 山上に木を植えて茂生するの意であつて、人も立身出世がある。

二爻、風天小畜 物事塞り止まる意があり、又た目に見て手に取られざる象があれば萬事急には調ひがたし。

三爻、風雷益 上下ともに動いて安徐ならず、故に住所安からず心身定らず辛苦ありと知るべし、思ひもよらざる害難あり損凶あり慎しむべし。

四爻、天火同人 人心同じで親しみ深き意の卦である、故に萬事調ひて立身出世あるべし、人より取り立てられ幸ひあるべし。

五爻、山火賁 次第に繁昌することのある立身出世に赴く意がある、又た人より親しみ敬はれ上たる人より恵にあづかることがある。

六爻、水火既濟 物の亂れの始めとする一旦は成就するとも末には破るゝの意がある慎しむべし、又今より變るの卦であるから油断なく怠慢なく貞正を守るべし。

三三 火澤睽

此の卦にあふや辯舌あつて常に物を喜ぶことも強く、又た些細の事を以つて其の是非を語り、假にも人の心を滿つなるべし。唯だ思慮深きに似て必らず淺智なり。故に時として人の情意に悖り、我が一己の意旨を立てんとして却つて過失多し、又た親戚、夫婦及び、總じて親しみの人と絶交口舌等の義或ひは女難百事なすこと遍滞眠盾あるべし。必らず輕卒にすべからず、只だ偏固ならざる様すべし。○天時雨ふる、午の日は晴。○願望障りあり。○待人來りがたし。○婚姻凶し、されども再縁は宜ろし。○生産少し煩し、女子なり。○得物は急にせば凶し。○病は危ふし。女は全快。○醫師は西南。○失物は婦人か隱居やうの者に問ふべし。○變宅凶。○訴訟扱に任せて可なり強いてせば凶。○走人神社の近所か、女の縁によるべし。○旅行見合せてよし。○仕官調ひがたし。○

抱人凶。○賣買人に順つて利あり。○高下は春と夏は下る、外は上る。
(参考)

白蛾先生解、睽は乖異なるなり、火の性は上り澤の性は下り、中女少女志そのをもむきを同じふせずしてみな相をむく、故にこと多く間違ひ妨げあらん、思ふこととげず△人内ち悦び外文明なり故に小事に於ては吉である、

變 卦

初爻、大水未濟 物の成就するの卦である、未だ用を相なさず然れども是れより以後相交りて事を始むるの吉兆とする。

二爻、大雷噬嗑 頤の中に物あるの意であつて諸事人に隔てらるゝの障りあり、然れども醫合せて通するの義あれば始めには調ひがたくとも後には調ふべし。

三爻、火天大有 日の天上に有つて照りわたるの意があつて人も時を得たるの卦である、然れども

是も位負けのする意があり、満つれば缺くると云ふ如くにて金銀等すべて損失あるべし、又た親類朋友或ひは婦人などにすべて人の事に付いて苦勞することあるべし。

四爻、山澤損 此の卦は本と減省とで物の損失の卦なれども今日の人には却つて宜ろしい、後に利徳を得る又た譽れあるか何にも末の宜ろしきことありとする。

五爻、天澤履 禮儀の心あり又た進む義あり、始めは驚くこと有つて後には喜びとなるの意ある卦である、物を分ち定むるの意がある、

六爻、雷澤歸妹 不意に禍のある卦なれば慎しむべし、相談契約其の期を失してやぶるゝの意がある、悪人に阻へられ我れ正直あらはれず難澁に遇ふことがある、

三三 水山蹇

此の卦にあふ人質朴の性なりと雖ども人信ぜず、固より魯鈍にして諸事なすこと悉く功なし、凡そ貧富を問はずして心中困苦を懷き及び住居の勞あり。且つ腰下の病腫瘡の患あらん、防ぐべし。但し險と見て止まる故に大なる災なしとす。○天時急には降らず、但し子未申の日は雨。○願望大抵成り難し。○待人來らず。○婚姻妨げあり、急には成りがたし。○生産男子なり、初産は長引くべし。○得物は得がたし。○病は重し、或ひは腰下の病あり。○醫師は東北。○失物山水に近き所○變宅は見合すべきか。○訴訟居住のことに付いて起る凶。○旅行途中に難あり。○仕官今ま仕ふるとも保たず。○抱人老人は宜ろし。○賣買油斷せば利を失ふ。○高下は下るべし。威にゆけば上るなり。

(参考)

白蛾先生解、蹇は難なり、坎險前に在り、艮山下に止まる、進むこと能はず行ふことの難むなり住居難危にして心身憂苦あり、謀る處みな空し、頼む處なきが如し貧窮困厄の卦である、謀れば必らず輔け助くる人あつて終りに吉となるべし、五爻變ぜば久しからずして喜びあり。

變 卦

初爻、水火既濟 物の亂るゝの始めとする一旦は成就するも水末には破るゝ意がある、又た今より後の變る卦なれば油斷なく怠慢なく其の正を守るべし。

二爻、水風井 萬事改め變ずることには宜しからず、各々當然の職分を守り勤めて妄りに新規の事に取にかゝることなかれ、皆損ありて益なし。

三爻、水地比 親有つて人と相和樂するの卦である、知者朋友或ひは一家などより力を添へらるゝ義がある。

四爻、澤山咸 咸通にて物の速かに調ふの卦である、思はざるの吉事有りと知るべし。

五爻、地山謙 先に屈つて後に伸ぶるの卦である、故に始めには何事も調ひがたく苦勞多く物ごと不自由なれども後には利しき事必らず来る、

六爻、風山漸 立身出世あるべし、達する物必らず通ず、

三三 雷水解

此の卦は魚の網を遁れ出でたるの意にて、なやみ解けちるなり。故に難義なる處を逃れ出づる卦なり。若し又た求むる所あらんには疑念なく事を速かに爲し行ふべし。然れども慎まざれば再び災ありと知るべし。○天時雷雨あり。午日は晴る。○願望東の方に頼むべき人あり達すべし。○待人同行あり、女子ならば早く来る。○婚姻調ふ、恒にゆけば成る事たしかなり。○生産初産は男なり

若し夜中ならば碍あり。○得物は真正なれば得べし。○病長引手を盡すべし。○醫師辰巳の方。○失物高所に在るべし、水邊に近し。○變宅宜ろし、師未濟は凶見合はすべし。○訴訟信實にして我を推さざれば利なり。○走人女の碍あり、遅く知る。○旅行凶○仕官實義和順の人は成るべし。○抱人は宜しけれども後に必らず色難あるべし。○賣買は損失あらん、心付くべし。○高下は上りそふえてはり夏は下るなり。

(参考)

白蛾先生解、解は脱なり、疑なり屯難とは散るに通滞して通しがたし、難速かに消散しがたく夏は脱すれども喜びを生ぜず、思慮決せず住居安からず破財の兆盜難等のさわりを防ぐべし。

變卦

初爻、雷澤歸妹 不意に禍のある卦なれば慎しむべし、悪人に阻へられ我が正直あらはれず難義に遇ふことあり慎しむべし。

二爻、水地比 親有つて人と相和樂するの卦である、知者朋友或ひは一家等より力を添へらるゝの義がある。

三爻、雷風恒 物の生長するの義がある、又た物の散失するの意あれば人事も亦聚ると散ると思へば亦あつまりて定まらぬ意がある。

四爻、地水師 大人の徳ありて忠臣孝子なれば吉、常の人には吉ならず、人になやまざるゝ意がある、又た人を害ふ意がある。

五爻、澤水困 困窮難義の卦であつて諸事不自由に我が志通達せず苦勞多き卦である、然れども貴人の救ひを得て立身出世あるべし。

五爻、火水未濟 物の成就するの卦である、未だ用をなさず然れども是より以後相交ふて事を始むるの吉兆とする、

三三 山澤損

此の卦にあふ人は少量にして儉約を主とし、心を卑くして形體の勞を厭はず。平生物につき喜ぶことも強く、然れども俗に云ふ小廻りせずして迂遠なり。故に篤實にして魯鈍に近し。百事若し驕奢に心奔れば損失破財一時に来る。是を以て奢を損して孚を爲するときは自然に祥福來るの期あるべし。凡そ人と謀る事も一應にして調ひ難ければ、再三に及び遂に事調ふべし。又住居敗壞ありて修理するか、或ひは家業につき事を革むる事あるべし。變に依り吉凶あり。○天時晴る。丑寅の日に雨ふるべし。○願望出情して驗なし。正實なれば他の助けあり。○待人來る、尤も女は變約多し成らず。○婚姻吉、再縁は凶。○生産安し。○得物得るなり、但し己の人に問ふべし。○變宅凶。○訴訟正實なれば利。○走人女にて出づる、遠方には走らず。○旅行病災色難あり凶。○仕官少し

散財あれどもよろし。○抱人凶なり。尤も年期の長きか譜代はよし。○賣買後に利を得る。急ぐべからず。○高下多分下る、頤にゆけば上るべし。

(参考)

白蛾先生解、減省である、彼を損して是に益すなり、人欲を損して孕を存じ己が饑損して人の不足を恵む吉なり、損は本有より始まるなれば則ち損すに物なしこの卦は小人には吉。

變 卦

初爻、山水泰 本と減省とで物の損失の卦であるが今日の人には却つて宜しとす、後に利徳得るが又は泰れあるが何れにせよ末の宜しきことありとする。

二爻、山雷頤 物の成就するの卦であるが、然れども時節いまだ早きの意がある。急にすることに利しからず。

三爻、山天大畜 龍の山中に潜み居るの卦である、故に人も住所に付いて望むこと苦勞ありと知る

べし、物に忌嫌あり又た思ふゝの意がある、

四爻、火澤睽 人心相そむき違つて事を成りがたきの卦である。然れど學者などには時として大吉ありとする、争論口舌を慎しむべし。

五爻、風澤中孚 誠あるの卦であつて心中正直丁寧なれば吉とする。我が邪のことに此の卦を得ば大凶目前に来ると知るべし。

六爻、地澤臨 貴賤相交りて親しむの卦である、物ごと柔和にして吉剛氣なることあし、横合より難澁など云ひかけられ苦勞することあるべし。

三三 風雷益

此の卦を得る人は性質騒がしくして短慮なるが故に、一時に事を成さんと欲し、妄りに利益を貪

るの心あれば却つて散財損失あり。又色欲奸姪の意あれば慎しむべし、唯だ物さわがしくして心身取りじめなきを慎しみ守るべし。○天時うす曇次第に晴る。○願望東方吉。女子の便宜によりて調ふ。○待人來る、同伴あり。○婚姻初縁は吉。○生産初めは女なり、安し。○得物は半ばを得べし。○病長けれども治す。○醫師辰巳の方吉。秋冬は南方。○失物出づべし。冬は遅し。○變宅正直なれば次第によし。○訴訟和平の計に任す。走人女の爲めに出づる、後に自から知らるゝ。○旅行大抵凶。○仕官舊主に歸參するか、急にするは凶。○抱人男子は凶、女は宜し。○賣買人に依つて利を得。○高下は大利なし、何れ急ぐこと凶し。

(参考)

白蛾先生解、益は増なり、饒なり此の卦滿つ溢るゝ義にして災害にあふの卦なり△應あつて他人にまで及ぶ意ありとする。

變 卦

初爻、風地觀 大風吉然れども晴天に雲の起るが如く思ひよらぬ事ども出來し、苦勞することあるべし、然れども人に仰ぎ尊ばるゝの卦なり。

二爻、風澤中孚 誠あるの卦なり、然れども我れ邪のことに此の卦を得ば、大凶目前に來ると知るべし。

三爻、風火家人 家内安寧するの卦なり萬事によること婦人を以つてすれば吉なるべし。

四爻、天雷无妄 天理に順つて動くの義によつて无妄と名づく妄ること無きときは誠なり、誠にして凶なることはなし、然れども斯かる人すくなし、故に此の卦を得る人半ば凶となる、

五爻、山雷頤 物の成就するの卦であるが然し時節未だ早き意があり、急にすることには利しからず。

六爻、水雷屯 草の始めて生じて未だ伸びざるの意であつて、萬事に付いて非はあるが相從ふことの類取りしまりなきの意がある、

三三 澤天 夬

此の卦に遭ふや大量にして物の決断速かなり。然れども短慮にして、やゝもすれば事を愆つ意あり。故に柔和にして物に偏ならざれば吉を得るなり。且つ心中剛に見ゆれども、全體憐惠の氣を含めり、蓋し生涯の吉凶を言へば一旦盛んにして登天の勢あれども、其の威猛に誇るときは遂に身上傾敗に至る。又口舌争論金銀印券につき心勞あり。又色情に依り人の疑ひを被むる等の難あり慎しむべし。○天時朝は曇る。されども日和に至る。○願望僧か女の便りを以つてせば宜ろし。○待人來らず、俄に間違ひあり。僧か女は來るべし。○婚姻後悔あり、凶。○生産初産は女子安かるべし。○得物貞實なれば得る。但し急ならず。○病長かるべし。○醫師西北。○失物西北にあり。女に問ふべし、出がたからん。○變宅大抵宜ろし、信心にして仁あれば後大いに吉。○訴訟人の扱に任ず

べし。○走人山方の國に居るか急には出がたし。○旅行見合すべし。○仕官宜しからず、後々必ず妨げあるべし。○抱人三十より上の者は吉。○賣買舊を守りて宜ろし、損あり。○高下は上ることなし。

(参考)

白蛾先生解、夬は決なり又た潰なり此の卦散亂して物の破るゝ意あり、和順なれば咎なし、剛強ならば人心はなれ、兇害いたる、

變 卦

初爻、澤風大過 何事に付いても不定であつて思慮安からぬ意がある、表向は宜しくして跡なきの意がある、始め苦勞があつて久しくして後榮えるの意もある、

二爻、澤火革 萬事に付いて改革するに宜ろし、内は明かに外悦ぶの義あれば、初めは調ひがたきことがあるが未には成就する、

三爻、兌爲澤。喜びの顯はるゝの卦であつて善きことがある、然れども物の取りしまりなく埒の明かぬ意もあり考へ合せて斷すべし、又外見は宜しく内心の宜しからぬ宜もある、

四爻、水天需。諸事急にすることは成就しがたく其の上却つて難義に逢ふ心がある、ゆるくすることには吉。

五爻、雷天大壯。諸事過ち有つて苦勞難義に遇ふべし、或は住所を離れ安からぬことあるべし。

六爻、乾爲天。此の卦常人には凶なり、萬事進むこと凶、退くによろし、物ごと難義なる心あり又道中などすること凶なり。

三三三 天風姤

此の卦に逢ふ人は秀才と雖も進退疑惑の意あり。又心中望みあれども未だ時來らずして百事調ひ

がたし。常に望みあれども言語に顯はさず。又た人の集會するか又は意外の外にめぐり逢ふて親和することあり、且つ貴上の人に對して怒りを受くるか疑を受くることありて、口舌争論の兆あり。男子は女につき障あり、總じて不義奸姤の意あれば常に貞正を守るべし。婦人此の卦を得れば夫を克して寡婦の象とす。○天時曇る風、夏は雨ふるべし。○願望見合すべし。○待人來る、遅し。○婚姻見合すべし。○生産少し碍あり。○得物は得がたし。○病危きに至らん。○醫師戌亥の方。○失物戌亥にあり、出がたし。○變宅動くこと凶。○訴訟利なし。○内和成るべし。○走人義理を以つて出たり、歸ることなし。○旅行近所は碍なし。○仕官女難あり、止むべし。○抱人見合はせて宜ろし、もつれごと起るなり。○賣買に利あり、心を付くべし。○高下次第に下るべし。

(参考)

姤は遇なり望む處に非らずして卒然として、これに値成せずあふものなり、小事には吉始めは吉、後には凶、△不慮の幸ひあり人の助力に因つて立身出世あるべし、身に不相應の望み有りて上

を犯し禍をうくる意があり。

變 卦

初爻、乾爲天 萬事進むこと凶、退くことよろし、損失あり又た盜難を防ぐべし。

二爻、天山遯 退くと訓むの字であつて、住所などに付いて辛苦多く、思慮分別も定まらず、諸事間違ひあるの卦である。

三爻、天水陰 心身安からず憂ひ悲しみ多く、争論のことを慎しむべし、貴人に對し背心あれば我より目上の人に隨ふ心等待つて道理を忘るべからず。

四爻、巽爲風 通達の意ありて思ふこと遂ぐる卦である、然れども横合より障ることありて事を仕損ずることがある、人に順ひて吉、

五爻、火風鼎 舊きを捨て、新たに事を始むるに宜しとす、争論を慎しむべし、損失あり、福を受くべく又た親しき友を得べし。

六爻、澤風大過 我が思ふことを深く行ひ、人の相談を不用して後に大いに了間ちがひて難澁することあるべし慎しむべし。

二 三 澤 地 萃

此の卦に遭ふや、柔順にして能く人を包容し、又た能く人を世話する氣性たる故、人も亦我れを親しみ交はるなり。士農工商共に富有り繁榮の兆とす。然れども平生飲食等に於ける節を量りて過不及を慎しむべし。節を失へば疾病を生じて命期を促がし、悔て功なかるべし。但し久しく逢はざる人或ひは絶交の人に相逢ふて親しくなることあり。又常に口舌争論或ひは破財を畏れ慎しむべし。○天時曇る、風。○願望老者に頼りて吉、をそかるべし。○待人來る、非義の人はもつれあり。○婚姻正しければ吉。○生産安し、初産は少し碍る。○得物は身分には得がたし。をそし。○病は

治す。○醫師西方か北方。○失物未申の方に行く、散亂して空し。○變宅末を保ちがたし、見合はせてよし。○訴訟長上の明戒に従ふべし。○走人何れ都會の地か同志多く集まる所か。○旅行同行されば女難あるべし。○仕官甚だ信義を守り、已を下りて吉。○抱人吉なり、されども女の口舌起る。○賣買人の爲めに損失あるべし。慎しむべし。○高下は上り下り當分なし。

(参考)

白蛾先生解、萃は聚也和順にして相應すとす、利欲にふけれること勿れ△此の卦榮え富める卦なれども一切の人吉とすべからず、日々に集會して市を爲す者、又たその地邊に住居する者には吉兆なしと云へとも此卦の出づることがある。

變 卦

初爻、澤雷隨 我れ動き彼れ悦ぶ故に隨と云ふ相上に従ひ通ずるの義がある。又た枯木重なり茂るの卦なれば物の變つて吉。

二爻、澤水困 困窮難義の卦であつて諸事不自由に我が志通達せず苦勞多き卦である。

三爻、澤山咸 咸通とて物の速かに調ふの卦である思はざる吉事ありと知るべし。

四爻、水地比 親有つて人と相和樂するの卦である、されば知者朋友或ひは一家等より力を添へらるゝ義がある。

五爻、雷地豫 悦びの義ありて人も立身出世の悦びがある、新規に物を取組むの意がある、怠心を生ずれば大いに驚くことあるべし。

六爻、天地否 物事塞つて通ぜざる義であつて思ふごとくなりがたく我より上たる人より咎に遇ふ心がある、始め苦しみ後に榮える卦なれば何事も始めには人と合はずして勞することあれども終には志を遂ぐ。

地風升

此の卦は草木の地中に有りて次第々々地上に發生する意にして、段々立身出世する卦なり。故に此の卦にあたる人毎事心長へに筋を違へざるやう心付くべし。兎角苦勞多く氣を揉むとも、時を待ちて急ぐことなければ、大吉疑ひなし。○天時曇りて風晴る。○願望叶ふ、分に過ぎる望みは凶し。待人未申の日來るべし早からず。婚姻心長くして調ふ。○生産辰巳の日、二度目よりは男。○得物僧か女よりならば得べし、他は宜ろし。○病長引とも治す。○醫師辰巳。○失物急げば出でず。○變宅止まりて宜ろし。○訴訟和熱を調ふべし。○走人知りかぬる後に女の手より出づべし。○旅行見合すべし。○仕官成るべくして成らず。○抱人身體は宜しくして心中凶し止むべし。○賣買小利あり。○高下は半途にして控ひべし段々上るなり。

(参考)

白蛾先生解、昇るは進むなり登るなり又た十合を升と云ふ量也、此の卦を得るもの吉と雖も未だ吉ならず疑ふて決せず常に不足の意がある△立身出世のことがあつて却つて苦勞することがある。

變 卦

初爻、地天泰 心中になやみ多く諸事に付いて表向きは宜しく見ゆるとも意には宜しからず、物事間違ひありて苦勞あるべし。

二爻、地山謙 先に屈つて後に伸びるの卦である、故に始めには何事も調ひがたく苦勞多く物ごと不自由であるか後には利しき事必らず來る。

三爻、地水師 人になやまさるゝの意があり、又は害するの意あり、物の入組で解けがたき意もあり、人の頭と成る理あり事によつて考合すべし。

四爻、雷風恒 物の生長するの義があり、又た物の散失するの意があり、人事も亦此の如く此聚る

と散ると思へば亦あつまりて定まらぬ意がある。

五爻、水風井 萬事改革するに宜しからず、各々當然の職分を守り勤めて妄りに新規の事に取
りかゝる事なかれ、皆な損失ありて益なし。

六爻、山風蠱 諸事に付いて難義迷惑することあるべし、慎しむべし、親子の中に苦勞あるべし又
た病難を慎しむべし。

三三 澤水困

此の卦にあふや知慮ありと雖も心中困苦を抱きて世に遇はず、唯だ清閑獨居を好むの意なれば學
士釋氏に於ける吉也と雖も、平人此の卦を得れば究極して事遂げざるの意あり。然れども安靜にし
て待つときは吉事來るの端とす。然して實情あれども人舉げて信ぜず、又住所に勞苦絶えず、蓋し

心痛或ひは瘡毒等病症を防ぐべし。○天時曇りて降らず、風あり。○願望正直堅固ならざれば病災
あり、調ひがたし。○待人來らず、酉の日來るか。○婚姻調はず。○生産流産か又た難産か命に碍
なし。○得物得られず。○病は食滯か、何づれ腹内に邪あり。○醫師西方三度迄で替えて宜し。○
失物出がたし。○變宅宜しからず。○訴訟利なし、取扱に任す○走人行先にて困苦す、近國近在に
居る。○旅行損失、凶。○仕官宜しからず、見合はせて吉。○抱人宜し。○賣買舊きを守りて宜ろ
し。○高下は下るべし。

(参考)

白蛾先生解、君臣父子夫婦兄弟の中に苦勞たへず又は破財の兆、他郷に往來し安居せざるの意、
譽れあつてそしりなし、この卦險を出で、説ひあるの時である。

變 卦

初爻、兌爲澤 幸ひの顯はるゝ卦であつて善き卦であるが、然し物事取りしまりなく埒の明かぬ意

がある、考へ合せて断すべし

二爻、澤萃地 物の聚會して繁昌するの意がある、諸事吉とする、中絶離別の人に廻り逢ひ又た親しくなるの意がある。

三爻、山雷頤 物の成就するの卦であるが、然し時節未だ早き意がある、急にすることは宜しからず。

四爻、坎爲水 難義困窮の卦である。遠く住所を去つて吉し、常にかはりたる怪しき意ありと知るべし、

五爻、雷水解 難義なる所を遁げ出づる卦である、然れども能く々々慎まざれば又再び禍ありと知るべし。

六爻、天水訟 諸事調ひ難く心身安からず憂ひ悲しみ多し、争論のことを慎しむべし、

水風井

此の卦は柔順にして人に逆はざるの意あり。又逡巡格似して事を決せずと雖も多分に移らず、己が一心に止る故に譽もなく謗もなし。唯だ風流清閑に心を寄せて世の俗情を疎んず。大略運拙なき意あれば更に事を變革すべからず。貞心にして他事を欲せず、身の行状を慎しみ守りて時至るを待つに利あり。若し性急にして時來るを俟たずして事を改めなせば必らず利あらず。唯だ至靜にして時至るを待つて事を革むれば吉利なり。○天時風曇る、後ふる。○願望叶ふ、急ぐことなかれ。○待人來る、をそし。○婚姻調はず、再縁。○生産初めは女子、辰巳の日に生まる。○得物は僧婦よりならば得ることあり。○病危し、金陰の症。○醫師辰巳。○失物急に出でず、後ち知ることあり。○宅舊宅を以つて吉とす。○訴訟和談を爲して宜ろし。○走人自然と先より知る、。○旅行止つて

宜ろし。○仕官成るべくして成らず。○抱人上へは宜しく内心は甚だ凶し。○賣買人の心付によりて少しく利を得。○高下仕來りは少しは上るべし。冬は却つて下るなり。
(参考)

巽木を以つて坎水の下に入れて其の水を上げ出だす井の象なり、井の字は刑の字と通ず公事ことを忌むべし刑罰の意あり、少しく通じて大いにとゞこふる意、思慮定まらず居住驚きあるべし憂ひをふくむ意あり。

變 卦

初爻、水天需 諸事急にすることは成就しがたく其の上却つて難義に逢ふころあり、ゆるくと爲すときは吉なり、需は待なり物を待つて居るの意にすべし。

二爻、水山蹇 龍の珠を失ふの意であつて寶散財貧にして辛苦あり難甚だしき卦である、住所苦勞あり物ごと窮屈なるの意がある。

三爻、坎爲水 難義困窮の卦である、常にかはりたる怪しき意ありと知るべし。

四爻、澤風大過 何事に付いても不定りであつて思慮安からぬ意がある、表向きは宜しく跡のなき意があり、始めに苦勞して久しくして後榮えるの意がある、

六爻、巽爲風 通達の意があつて思ふこと遂ぐるの卦である、然れども横合より障りごとあつて事を仕損するなり、兎角人に順ひてするに宜ろし、

三三 澤火革

此の卦にあふ人は聰明にして人を親望すること深くして、又た離散し物の廢することも速かなり然れども文雅風流の氣性あるを以つて人にも用ひられ稱せらる。故に學士釋氏は吉兆名譽あり、平人は奇を好み世利に疎き意あれども、其人其機に應じて活斷あり、住居職業等總じて改變する兆。

但し舊を捨て新らしきを取るに利あり。○天時晴る、されど四時によりて断すべし。○願望叶ふ急
 けば叶ひ難し待人來る舊約に違ふ事あるべし。○婚姻調ふ。再嫁は殊に宜ろし。○生産安し。○得
 物は得る。○病は持病なり、醫をかへて宜ろし。○醫師西南の醫を求むべし、榮功なし。○失物出
 がたし、ことにより先より出来る。○變宅改つて吉。○訴訟利あり、我を張る勿れ。○走人女のつ
 てによりて知るゝなり。○旅行西南はよし、同伴なれば猶よし。○仕官妨げあり、用心あるべし。
 ○抱人大いに吉。○賣買真正の人は利あり。○高下はすはり、夏は隨豊にゆけば上るなり。
 (参考)

白蛾失生解、革は改めるに利し惡を去るの謂なり、みだりに變動することには非らず、財事を求
 むるのたぐひ成るべし、

變 卦

初爻、澤山咸 感通とて物の速かに調ふの卦である、思はざる吉事ありと知るべし、

二爻、澤天夫 剛強に過ぐるの卦なれば性急にして事を傷けることを慎しむべし、大器決断の人品
 あれども柔和にして堪忍することを得ざるべし、

三爻、澤雷隨 少女の長男に隨ふの意があり、我れ動き彼従ふ故に隨と云ふ相互に従ひ通ずるの義
 がある、

四爻、水火大既濟 物の亂れの始めとする一旦は成就するとも末には破るゝの意があり慎しむべ
 し、今、り後の變る卦なれば油断なく怠慢なく真正を守るべし、

五爻、雷大豊 盛大の勢ひのある卦なり然れども餘り大過にて却つて其の形を失ふ意に見るべし、
 虚言謀計あるべし、

六爻、天火同人 人心同じで親しみ深きの意ある卦なり、故に萬事に付いて調ひ立身出世あるべ
 し、

三三 火風鼎

此の卦にあふや才器人に秀いで能く人の氣を量ると雖も、進退ともに相齟齬する意あれば生涯の占ひには必らず業を改むるか身の行狀を改め、變じて立身發達の意あり。總べて物舊きを捨て新たに事を始むる意あり。○天時晴は忽ちふる、若し雨中なれば忽ち晴る。○願望正實なれば成る、散財あらん。○待人來る。南東は早し。婚姻急ぐときは凶兆。○生産安し、女子なり、辰巳の日ならん。○得物は得る、然し妨げあらん。○病長引とも治す。○醫師東南吉。○失物高所に有り出がたし。○變宅改めて吉、人を頼む。○訴訟正實にして利あり。○走人女の故に出たり、先より知る。○旅行同行あり、東南の方大いによし。○仕官夏秋は宜ろし。○抱人足らざる所あるか、半吉。○賣買損あり、買はよし。○高下は上るべし、旅疊にゆけば下ると知るべし。

(参考)

鼎は訂也、又新也、恐るゝ意と傷くる意あり、又た鼎足の義通考すべし。

變 卦

初爻、火天大有 日の天上に有つて照りわたる意であつて人も時を得たるの卦である、然れども是れも位負けをするの意あれば注意すべし、
 二爻、火山旅 始めは宜しく後に悲しみとなるの意があり、萬事に付いて慎しむべし又月の半開の意もあれば小事には宜しき義あり其の占ふ事に付いて斷すべし、
 三爻、火水未濟 物の成就するの卦である末に用を相なさず、然れども是れより以後相交りて事を始むるの吉兆とする、
 四爻、山風蠱 諸事に付いて難義迷惑することあるべし慎しむべし、親子の中に苦勞あるべし、又た病難を慎しむべし、

五爻、天風姤 思ひよらずして會合するの意があり、相談ごとすべて人に頼ること調ふ、又此の卦たるや物の聚散の意あれば人も分別工夫して定まらずして迷ふの意がある、
六爻、雷風恒 物の生長するの義がある、又た物の散失するの意あれば人事に付いても聚散して定らざるの意がある、

震 爲 雷

此の卦はもと祥福ありて繁昌の卦なれども、是れも常人には大抵宜しからず、雷は百里を驚かすと雖も、考えありて形なきの意あれば何事も聞く程にはなし、吉凶ともに始めありて終りなきの意を含みて断すべし、又位官の人威勢ある人物に出る多し、物を富にして断すべし○天時雷雨、春冬はくもる、○願望急げば叶がたし、○待人來る、遠方は早し、○婚姻成らず、再縁は調ふべし○生

産男子、少し障あり、○得物は得がたし、後れて小分をうる、○病安からず、○醫師東方宜し、○失物遠し、他より告ぐべし、○變宅止つて可なり、○訴訟扱に任せて宜からん、○走人同行あり、手を盡して後知るべし、○旅行同行あれば吉、○仕官心決せず、長上の心を假るべし、○抱人男子は宜し、女人は大いに凶し、○賣買實義なれば利を得るに至る、○高下は春夏は上る、

(参考)

白蛾先生解、雷は起るなり始め凶終り吉大人には吉、常人には性急にして事をとげず、他國遠方の便りを聞いて虚動しもだへるの意あり、

變 卦

初爻、雷地豫 悦びの義あり人も立身出世ありとする、新規に物事を取組むことの意があり、怠るの心を生ずれば大いに驚くことあるべし、

二爻、雷澤歸妹 不意に禍あるの卦なれば慎しむべし、悪人に阻へられ我が正道あらはれず難澁に

あふことあり慎しむべし、

三爻、雷火豊 盛大の勢あるの卦である、然れども餘りに大過にて却つて其の形を失ふ意に見るべし、思ひよらざる驚きありと知るべし、

四爻、地雷復 物の盡きて又始めるの卦なれば、一度はあしくても復吉事に向ふ時節であつて、諸事思ふ所を成就すべし、

五爻、澤雷隨 我動き彼れ説く故に隨と云ふ相互に従て通ずるの義がある、

六爻、火雷噬嗑 諸事人に隔てらるゝの障りあり、然れども離合せて通ずるの義あれば始めには調ひがたくとも後には調ふべし、

三三 艮爲山

此の卦にあふ人性質朴にして氣高からず、常に諂ひなくして人に交り、其の身の勞苦を厭はず、業務を専らにして人を親しみ、人亦た我れに親しむ故に世人と交り厚しと雖も、百事半ば調ひ半ば通達し難し、是れ憂喜を兼ね帯ぶ二山重りたる卦象なり、故に人の身も憂喜二つを含めり、又萬事進みなすこと吉利に非らず、唯だ己れを省みて妄動すべからず、百事心に任せずと雖も時を待つて謀るに宜し、○天時曇ること長し、秋ならば日和、○願望妨げあり止むべし、○待人來らず、便宜惡しき所、○婚姻調ひ難し、○生産碍あり、○得物出でず、○變宅止つて宜ろし、○訴訟扱に任すべし、却つて利あり、○走人同行あり、山中に入る、○旅行凶し、君主の便りか餘儀なきは宜ろし、○仕官妨げあり、苦勞多し、○抱人宜しからず、心に應ぜよ、○賣買見合せて損毛をまぬかるべし、○高下は段々下る冬少しは上るなり、

(参考)

狼戻りにして進まさるなり、限りて止めを通ぜざるなり、辛苦たえず、百事まちがひさまたげあ

り、又た心和せずられて喜び少なし、退ぞき止まりて虚動することなかれ進む必らず禍がある、
變 卦

初爻、山火賁 立身出世あるべし、間違ひにて人と中絶することありと雖も、後には宜しとす、短
氣を慎しむべし、身分より大を望むと損、小なるに宜し、

二爻、山風蠱 難義迷惑することあるべし慎しむべし、親子の中に苦勞あるべし病難を慎しむべ
し、

三爻、山地剝 今より新規に物を取り始むるに宜ろし、然れども物の高き處より落つる象あれば人
も身の上の安堵ならずと知るべし、

四爻、火山旅 始めは宜しく後には悲しみとなるの意がある、萬事に付いて慎しむべし、心中浮き
たるが如く安からぬと知るべし、

五爻、風山漸 立身出世ありとする、物の通達するの意がある、

六爻、地山謙 先きに屈つて後ちに伸びるの卦である、故に始めには何事も調ひがたく苦勞あれど
も後には利ろしき事必らず來たる、

三三 風山漸

此の卦にあふ人は篤實溫柔にして人に従ひ能く馴れ近づく意あり、然して身を勤め勵み手足の勞
をも厭はずして家業を守るの人なれば、積月累年の後ち發達あるべし、尤も手に藝術を備へ身を助
くるの功ありて、常に心中一箇の思ひありと雖も人に包み忍じて危みあり、是れ必らず後來吉祥を
得るの兆なり、若し妄りに望みを企て躁進すれば功無くして悔生ず、唯徐々として日用の事業を守
れば期せずして發達ありと知るべし、○天時風後晴る、辰巳の日は晴る、春は降る、○願望急にな
らずとも調ふなり、○待人來る、少し後るか、○婚姻調ふ、○生産初めは男、次は女子、安し、

○得物は得れども十分ならず、○病急に治せず、○醫師辰巳の方老醫宜ろし、○失物丑寅の方後れ
て知るゝなり、○變宅長上に順つて吉なり、妄りに動くべからず、○訴訟我意を出すときは凶、扱
に任せて吉、○走人急に出せず、○旅行同伴あれば吉、○仕官宜ろし、急ぐべからず、○抱人頼み
ある人なり宜ろし、○賣買次第に利を得、欺きを心付くべし、○高下は段々上る。

(参考)

白蛾先生解、漸は稍々進むなり、順次にして吉に向ふ、又た事の由來なり、此の卦を得る者必ら
ず事あり、苦勞あるべし、又此の卦吉に向ふの意もあれども、然れども一定すべからず、吉凶の間
にありと知るべし、

變 卦

初爻、風火家人 家内安寧するの卦であり、萬事によること婦女を以つてすれば吉なり、
二爻、巽爲風 通達の意があり、思ふこと遂ぐるの卦である、然れども横合より障りありて事を仕

損するの卦である、兎角人に順つてするに宜ろし、

三爻、風地觀 大凡吉なり然れども晴天に雲の起るが如き、思ひもよらぬ事ども出來し苦勞するこ
とあるべし、然れども人に仰ぎ尊ばるゝの意あるの卦なれば又た外より能く世話にあづかるべし、

四爻、天山遯 辛苦多く思慮分別も定まらざるの卦であつて、諸事に付いて間違ひあるべし、

五爻、艮爲山 止まるに宜ろしく進むに損あり、又た憂喜の二山重りたる義とする物ごと半ば調ひ
半ば通達しがたし。

六爻、水山蹇 險を見て止まるの卦なれば大凶なし人に随つて吉、

三三 雷澤歸妹

此の卦を得る人は常に喜ぶことも強く、又た不意に怒ることあり、又た物の是非善惡を論じ、時

として人と不和を生ずることあり、又た身體柔弱にして口剛なる故に人に逆ひ悖ることあり、若し生涯の占ひに此の卦を得れば、始めは柔順なれども次第に望みを生じ、大いに名を爲し事を作らんとして半途にして過失あり、一時に勞苦を抱ぎ不意の災責破財あり、慎しむべし、○天時雷風雨、急に晴れず、又た戌の日は日和なり、○願望間違つて成りがたし、○待人來る、遅し、○婚姻調ひ難し、控えてよし、○生産男子、卯辰の日障りなし、○得物は半ば得べし、○病長し、○醫師辰巳北は凶し、○失物急に知れず、婦の縁あり、○變宅舊を守りてよし、○訴訟我意を立てんは大凶、○走人意外の災にて身を隠し歸へり難たし、○旅行同行は吉、一人は凶、○仕官他より邪魔あり、急ぐことなかれ、○抱人男女共に止つて可なり、○賣買利なし、退いて吉、○高下は初め上り終りに下る、睽にゆけば損多し。

(参考)

白蛾先生解、婦人嫁を謂つて歸と云ふ、妹は少女なり、此の卦少女男にあふと其の情け又た悦び

を以つてうごく皆な正に非らず。

變 卦

初爻、雷水解 難み解散なり故に人も難義なる所を遁げ出でるの卦である、然れども能く々々慎しまざれば又た再び禍ありと知るべし。

二爻、震爲雷 繁昌するの卦である、然しながら聲ありて形なきの形れば吉凶ともに初めて聞くほどにはなしと知るべし。

三爻、雷天大壯 諸事過ち有つて苦勞難義に遇ふべし、或ひは住所を離れ安からぬことあるべし、勢ひつよき人の爲めに辛苦することあるべし。

四爻、天山遯 辛苦多くして思慮定まらず諸事に付いて間違ひのあることがある。

五爻、艮爲山 止まるに宜ろしく進むに損あり、又憂喜の二山重りたるの義とする、故に物ごと半ば調ひ半ば通達しがたし。

六爻、火山旅 始めは宜しく後に悲しみとなるの意がある、萬事に付いて慎しむべし、其の占ふことによつて断すべし。

三三 雷火豊

此の卦にあふや聰明にして大量なり、寛然たる状態なりと雖も、性躁剛にして百事進むに強く又退くに速かなり、大人は動くに明を以つてす故に譽徳を大にす、小人は氣性高上に馳せて業務に疎し故に表向はよけれども破財多し若し、大望ありて進み事をなせば過失ありて悔を生ず小事を行ひ貞正を守るときは、終ひに吉慶祥福の基たり然れども百事目に見て取られぬ意あれば、唯だ美に過ぐべからず、蓋し公事訴訟或ひは謀計虚談の災ひあるべし、慎しむべし、○天時晴るべし、夏秋は雷雨あるべし、○願望叶ふ、急にすれば損あり、○待人同伴して來る巳午の日か、○婚姻調ふ、急

げば凶、○生産安し、又た月を越ゆる、○得物長上よりは得べし、他は得べからず、○病危し、醫を替えて吉、○醫師卯辰已老醫吉、○失物出でず、後に知るなり、○變宅賑ふ所に移る意あり凶なり、○訴訟印形書付杯が心勞すること出来る、○走人東南人に付いて出たるか知るべからず、○旅行長上の心に從つて吉、少々障りあり、○仕官宜ろし、然れども久しからず、○抱人性急なれば間違ひ出来ることあり、○賣買舊を守りて宜ろし、進みて悔あり、○高下は春は下る、夏は上る。

(参考)

白蛾先生解、豊は多なり盛大なり、慈みの始めなり萬事退くるに利しく、進むに利しからず、減するに咎めなし、増すこと必らず禍ひあり、

變卦

初爻、雷山小過 大いなる禍ひはなけれども、常に苦勞氣がね多く我が身が我が心に任せぬ意あり。

二爻、雷天大壯 諸事に過ちあつて苦勞難義に遇ふべし、或ひは住所を離れ安からぬことあるべし。

三爻、震爲雷 聲ありて形なきの卦なれば吉凶ともに初めて聞くほどにはなしと知るべし。

四爻、地火明夷 思ふ處を失つて難義迷惑することあるべし、仕損じの多き卦なれば何事に付いても慎しむべし。

五爻、澤火革 萬事改革することに宜ろし、今までのなる事の世に用ゐられざるものは速かに其の舊きを去つて新らしきことを爲すべし。

六爻、離爲火 親子兄弟又は親しき朋友などに別れ遠さかるの卦である、然れども學者出家などには大吉とする、大いに人に用ゐられ名を發することあるべし。

三三 火山旅

此の卦にあふ人は心中憂苦を懷き、住居又た身心勞苦の體ありて、常に安靜ならず然れども氣性會つて奢らず亢らず諂なくして人に能く親しみ交はる故に、人よりも親和ありて我れを助け力となるの意あり、唯だ妄動せずして發達の時を俟つに利し、但し出家學者の類は吉とす、平人は吉ならず、又た此の卦を得る人は金銀財寶につき勞苦ありとす、又旅行の義あるべし、○天時疊るとも必らず晴る、丑寅の日はふるべし、○願望他より女の妨げあり叶ふべからず、○待人遅し、丑寅の日來るか、○婚姻半吉、媒酌にまちがひあり、○生産安し、初産は女子なり、○得物不實の人は得難し、金錢は少こし得べし、○病は凶とす、○醫師丑寅の老醫宜ろし、○失物急に出でず、女に問ふべし、たかき所か、○變宅長上の意に隨つてせば末よし、○訴訟は和平にして宜ろし、女の事のも

つれなり、○走人近きに縁あれども遠く去りたり、○旅行は北は凶、同行あれば宜ろし遠きは凶なり、○仕官新たにするは凶、○抱人女は害なし、男ならば心悪るき人ならん、○高下は下る、秋なれば急に上ることあるべし。

(参考)

白蛾先生解、困窮不自由なりと知るべし、改め變ずるの意があり小事には吉、喜びの中に憂ひを含むことがある。

變 卦

初爻、離爲火 離別の卦なり、親子兄弟或ひは親しき朋友などに別れ遠ざかることあり、尙離爲火の本卦参照、

二爻、火風鼎 改革することに宜しされば舊きを捨て新らしき事を始むるに宜ろし。

三爻、火地晋 繁昌するの卦なり、立身出世に赴くの意があり、又た人より親しみ敬はれ上たる人

より恵みにあづかる卦である。

四爻、艮爲山 止まるに宜しく進むに損あり、又憂喜の二山重りたるの義とする、故に物事半ば調ひ半ば通達しがたし。

五爻、天山遯 辛苦多くして思慮定まらず、諸事に付いて間違ひのある卦なり、

六爻、雷山小過 大なる過ちはなけれども、常に苦勞氣がねが多く。我が身か我が心に任せぬ意がある。

巽爲風

此の卦にあふや才識ありて人に交はるに貴賤となく人の氣に應じて、人をして親しみ感ぜしむるの意あり、然れども事に觸れて身體疑惑し、心決斷しがたしとす又た生涯の占ひは中年に事を破り

親屬の意に應ぜず又は子孫斷絶の意あり、當時の占ひは心中思念ありて人に包み忍ぶ意、住居の勞ありとす、又た海上風難の恐れあり慎しむべし、唯だ上たる人に從ひ和順するときは家門繁榮すべし、○天時風曇る又た辰巳の日は晴る、○願望長上の人の助けあり、急にすべからず、○待人同伴して來るべし、辰巳の日、○婚姻再縁の心あり、初めは少し障りあり、○生産急に安産、辰巳の日ならん、○得物は得べし、實義なる人は十分なるべし、○病長引くべし、熱あり、○醫師藥ちがひあらん、老醫を撰ぶべし、○失物出る、辰巳の間なり、○變宅心決し難きさま、長上の意見を用ゆ○訴訟和談してよし○走人腰押ある故知れず、後に知るゝなる、○旅行同行あり、東方吉、遠方も宜し、○仕官心替りす、止りて吉、○抱人短慮の人見合すべし、○賣買初めて宜ろし、後損あり。見切に心付くべし、○高下は下る、秋冬は上るべし。

(参考)

白蛾先生解、巽は散るなり、又た柔順なり此の卦通達せずして止めて久しからず、百事名ありて

形なし、平常に反覆阻障あるべし。

變 卦

初爻、風天小畜 物事塞り止まるの意あり、又た目に見て手に取らぬ象なれば萬事急には調ひがたし、

二爻、風山漸 立身出世あるべし、達するものは必らず通ず、然れども金銀のなやみあり。

三爻、風水渙 物の散解するの意がある、されば悪事の身を離るの吉兆とする、然れども散亂の義もありて損失あるべし、

四爻、天風姤 思ひよらずして會合するの意があり、相談ごとすべて人に頼るにより調ふ。

五爻、山風蠱 諸事に付いて難義迷惑することあるべし、慎しむべし、又た爭論を慎しむべし、

六爻、水風井 萬事改革するに宜しからず、各々當然の職分を守りて勤めて妄りに新規の事に取にかゝることなかれ、皆損あつて益なし。

三三 兌爲澤

此の卦にあふや辯能ありて人を悦ばしむと雖も、常に不信を以つて事を謬ること多し。故に言語を慎しむこと肝要なり、凡そ大事には不可、小事には吉なり、又た金銀及び婦人につき口舌の障りあれば防ぐべし、唯だ誠實を主として事を勤め、天に順ひ人に應ずる如く謀れば吉兆たるべし、○天時晴なり、近き中にふるへし、○願望叶ふ女子僧家の手を以つてせば速かなり、○待人來る、○婚姻再嫁なるへし、吉なり、○生産初産は少し碍る、他は安し、○得物半ばうるなり。心得たがひ得ざることあり、○病治す、食滯の類からん、○醫師東方宜ろし、○失物急に出です、兩人のわざなるへし、○變宅宜ろし、北方は凶し、○訴訟損得の事など扱に任せて宜ろし、○走人女の事に付いて出たらん、急に知れざるへし。○旅行宜ろし、されども女難を心つくへし、○仕官宜ろし、○

抱人宜ろし、○賣買は宜ろしかるへし、半吉なり、○高下は上るへし、されども節に變ぜば下る。

(参考)

白蛾先生解、兌は悦なり聚なり、通なり、按ずるに全く通と解せず、或ひは通と塞との義をかぬ小事には吉、大事にはならず、心中實貞ならず物に變動するの意があり。

變卦

初爻、澤水困 困窮難義の卦であつて諸事不自由に我が志通通せず、苦勞の多き卦である。

二爻、澤雷隨 本卦澤雷隨參照 (第 頁)

三爻、澤天夬 本卦澤天夬の説明參照 (第 頁)

四爻、水澤節 同 上 ()

五爻、雷澤歸妹 同 上 ()

六爻、天澤履 ()

三三 風水渙

此の卦にあふや心中實情じつじやうを含み、必らず人と親馴の意ありて和融わづし、百事吉兆たり、蓋し内坎水にして、外巽風なり、風起れば波亦た之れに従ひ起るなり、故に人に於ける百難なん解説して和樂わらくするの意ありとす、○天時晴る、風あり、酉の日ならばふる、○願望がんぼう叶ふ、急ぐへからず、○待人連あり來るへし、酉戌の日をまつべきなり、○婚姻こんいん夏秋は凶し、○生産安し、少し碍あり、○得物は目下の事は得がたし、半分うべし、○病長やまひながび引くなり、醫を替えるへし、○醫師酉戌の方よし、○失物深く隠かくすことありて出がたし、○變宅やまぢ動くべからず、止まるによろし、○訴訟長上の意見いけんに付いて宜ろし、○走人女の事に付き出たるべし、後に知るゝなり、○旅行りょこう近くは宜ろし、遠國はあしゝ。○仕官もつれごとあり、貞實なれば後に宜ろし、○抱人女難ある人又た短氣たんきなる人宜ろし、○賣買

舊きを守り和を待つべし、今は損そんあり、○高下は秋は下り、冬は次第に上るなり。
(参考)

白蛾先生解、渙は流散りゅうさんなり、又た上は木、下は水舟橋の象、又た通つうえの義とする、心中變動しんどうすることを慎しむべし。

變 卦

| | | |
|---------|------------------|-----|
| 初爻、風澤中孚 | 本卦の風澤中孚の説明を参照すべし | () |
| 二爻、風地觀 | 同 上 | () |
| 三爻、巽爲風 | 同 上 | () |
| 四爻、天水訟 | 同 上 | () |
| 五爻、山水蒙 | 同 上 | () |
| 六爻、坎爲水 | 同 上 | () |

三三 水澤節

此の卦にあふや常に物の是非を論じ、小量偏狹の性質なり。然れども心中實情あり、國事柔順にして人に悖らず、真正に其の節を守りて固執に過ぎず、謙下流れず、其の中を以つて事を成せば吉占なり。若し固執にして義を立てんとし、偏固にして人を容れんと欲すれども、人服うずして却つて我れを疎んず。故に唯だ柔順にして身を處すべし。又飲食を慎しみ殊に酒を飲むべからず、吐血或ひは骨節の痛み或ひは腰の痛み、又は中風の患等あるべし。○天時曇る、大抵晴る。○願望思はざる妨げ出来て叶ひがたし。○待人來れども遅し。子の日を待つべし。○婚姻見合せて宜ろし、後ち凶。○生産月を越し少し障りあるか。○得物は後に至り少しは得る、急速には得ず。○病は水氣か又た二便不通の意あり。○醫師子丑の方。○失物出がたし、子丑の方を索すべし。○變宅舊を守りて吉、進みて事をなすべからず。○訴訟利非かはる事あり、慎しむべし。○走人急に知れがたし。酉子丑の方に至る。○旅行出立の日を延ばして宜ろし、戒心すべし。○仕官急にせば凶真正にして末に吉兆。○抱人難物なり、止つて可なり。○賣買は利なし、賣は少利あるべし。○高下は春

夏は少々上る、他は下るなり。

(参考)

白蛾先生解、節は限り有つて上るなり又阻なり此の卦百事阻隔ありてならず、通せず達せずして自身困窮を取るの意とする。

變 卦

初爻、坎爲水 難義困窮の卦である遠く住所を去つて吉、常に怪しき意がありと知るべし。

二爻、水雷屯 相談事の類は取りしまりなきの意がある、尙ほ、水雷屯の本卦の説明参照)

三爻、水天需 諸事急にすることは宜ろしからず其上却つて難事に逢ふころがある、ゆるくと爲すことは吉とする。

四爻、兌爲澤 喜びの顯はるゝの卦であつて善き卦ではあるが然れども物事に取りしまりなく埒の明かぬ意がある考へ合して断すべし、

五爻、地澤頤 貴賤相交りて親しむの卦である、されば物ごと柔和にして吉、剛氣なることはあし、

六爻、風澤中孚 次の風澤中孚の説明参照すべし、

三三 風澤中孚

此の卦にあへば心中實情ありて能く人を喜悅せしめ、我れ亦事に觸れて悦びを迎ふ。蓋し辯才ありて諸人と交ると雖も柔順なるが故に互ひに相親しむの意あり。然して目上の禁戒を守りて、信實无妄なるときは發達榮盛の期あるべし。○天時晴る變に依つて雨あり。○願望叶ふ、少し碍あり。○待人來る、女子は別して早し、吉事あり○婚姻吉、末昌ふ、○生産安し、辰巳酉の日。○得物は半ばを得る。真正の人或ひは十分なるあり。○病虚勞の症なり、早く治療を成すべし。○醫師未申

の方。○失物辰巳酉の方より外に出でず、後ちに出づべし。○變宅得と考へてすべし。○訴訟和談すべし。却つて利を得るなり。○走人近くに在り、早く尋ねべし。○旅行同行あれば吉なり。○仕官長上の恩遇あり、真正にすべし。○抱人實義なる人にして爲めに成るべし。○賣買舊を守り性急にせざれば利あるべし。○高下は上ることなし。損に變すれば下るなり。

(参考)

白蛾先生解、孚は信なり、相應するなり、此の卦もと實有つて虚なし故に相感じて百事に付いて吉、相應する者必らず善あり不善あり審かに寄すべし。

變 卦

初爻、風水渙 第 頁 風水渙の説明参照すべし、

二爻、風雷益 同 上 () ()

三爻、風小畜 同 上 () ()

四爻、天澤履 同 上 ()
 五爻、山澤損 同 上 ()
 六爻、水澤節 同 上 ()

170

三三 雷山小過

此の卦にあふ人は常に人と交はるに、剛に見ゆれども亢らず、諂はず、唯だ其の性過鈍なるに似て偏僻あるが故に、時として人に逆ひ或ひは強硬にして、事を謀るの意ありて、屢々事を愆る唯だ柔順にして貞正を主とすれば、人の親しみありて吉兆たり、但し下るに吉、上るに宜しからず總じて一己の思ひを用ひず、衆人に馴れ親しみ事を謀れば過なし、國事目に見、聲は聞けども、手に得難きの卦なり、故に心中思ひあれども通達し難し、又常に親しき人と絶交あるか或ひは公事訴訟等

あるべし、又た兄弟親和せざる卦象なれば、互ひに慎しみあるべし、○天時雷雨午申酉の日は晴る
 ○願望叶はず、○待人來らず、○婚姻相談中間違ひあり、見合せてよし、○生産初産は碍あり、次も心付くべし、○得物は財物は得がたし他の事は少しうる、○病危し、○醫師東南にて撰むべし○失物出でず、強ひて探るとき咎めあり、○變宅止つて宜ろし、恣まゝにすれば害あり、○訴訟長引和平すべし、○走人東北急には知れかぬる、○旅行病難あり、止つて吉、○仕官益なし、止つて宜ろし、○抱人性急なる人が半ばにして去るか、見合せて宜ろし、○賣買舊業を守りて宜ろし、利少なし、○高下は下ること多し、秋は少し上るべし。

(参考)

白蛾先生解、陰を小と云ひ陽を大と云ひ此の卦陽二にして陰は四小のすぐれるなり、△離別の義あり、すべて人と和順ならず、つねに氣うつりする意あり、忍ぶ意あり、争論を慎しむべし。

變 卦

171

| | | | |
|--------|------------|---|---|
| 初爻、雷火豊 | 説明雷火豊の運勢参照 | (|) |
| 二爻、天風恒 | 同 | 上 | (|
| 三爻、雷地豫 | 回 | 上 | (|
| 四爻、地山謙 | 同 | 上 | (|
| 五爻、澤山咸 | 同 | 上 | (|
| 六爻、火山旅 | 同 | 上 | (|

水火既濟

此の卦にあふ人は聰敏にして世人の交りよく、貴賤共に親和して人に用ひらる、古人は能く萬事を整へ衆人を包容し、大望を成し遂ぐるの人なり、今人は世上の交はり能く自他に心を用ひて意外

の勞苦あり、若し百事十分になさんとすれば破財あり、故に唯だ真正にして、心中怠慢なきときは吉なりと知るべし、又色情女難の恐れあれば慎しみ防ぐべし、○天時雨又た冬は曇る午戌亥の日は天氣なり、○願望急には叶はず、身持ち堅ければ後ち叶ふ、○待人來らず、女は事により知己より音傳あり、○婚姻末遂げず、凶なり、○生産碍あれども恙なし、○得物は得ず、○病危うし、○醫師東南老醫宜ろし、○失物急に出です、○變宅吉、無理あれば凶、○訴訟扱に順ふべし、小事なれども變害あり、○走人出來心より走り今は歸る氣あり、○旅行獨行は凶、○仕官妨ぐる人ありて宜しからず、○抱人色慾深き人損失せん、止つて可なり、○賣買奮きを守りて少しく利あり、○高下は段々下るなり、秋より少々づゝ上るべし。

(参考)

白蛾先生解、既は盡也、説也、濟は通なり、遂ぐるなり、又た濟は止めなり、故に初は吉、終りは亂るの意百事衰ふるの意。

變 卦

| | | | | |
|---------|-----------|---|---|---|
| 初爻、水山蹇 | 說明本卦の運勢参照 | (|) | |
| 二爻、水天需 | 同 | 上 | (|) |
| 三爻、水雷屯 | 同 | 上 | (|) |
| 四爻、澤火革 | 同 | 上 | (|) |
| 五爻、地火明夷 | 同 | 上 | (|) |
| 六爻、風火家人 | 同 | 上 | (|) |

三三 火水未濟

此の卦にあふや智謀ありと雖も胸中危みを含み、心に思念離れず、是非邪正に疑ひありて百事決

し難たし然れども心中實情あるを以つて自然に吉に向ふ。凡そ始めは事整ひ難しと難も、終りに成就す。唯だ不貞の人は之れに反して凶事を招くなり。○天時雨、秋冬は雨に風あらん、○願望九分にして叶はず、辛抱せば後ち叶ふなり、○待人來るとも遅し、丑午か寅の日を待つべし、○婚姻障り多し、見合はずべし、○生産少し障りあれども産に至りて安かるべし、男子、○得物少なし、得るとも遅し、○病長し、命に別條なし、○醫師北の方、高名の醫、○失物強ひてせんさくせば知るされども物は出づべからず、○變宅後に憂苦多し、先き見合せて宜ろし、○訴訟危ろし、扱に任せて安泰ならん、○走人南に出、後ち北へ行きたり、同行の者あるべし、○旅行凶なり、二人三人にても難あり、止むべし、○仕官時早し、徳藝を研き待つべし、○抱人大抵宜ろし、○賣買買ふとき少利あり、賣るは利なし、○高下段々上る、冬は下るべし。

(参考)

白蛾先生解、前の既濟は止むを以つて主とする、此の卦は始むるを以つて主とする、大概趣きは

既済に依つて彼れは凶に走り是れは吉に向ふとする、

變卦

| | | |
|--------|----------------|-----|
| 初爻、火澤睽 | 説明大澤睽の本卦運勢の項参照 | () |
| 二爻、火地晋 | 同 | () |
| 三爻、火風鼎 | 同 | () |
| 四爻、山・蒙 | 同 | () |
| 五爻、天・訟 | 同 | () |
| 六爻、雷水解 | 同 | () |

活算 易 占 断 そろばん占 (終り)

昭和十一年六月十五日印刷
昭和十一年六月廿日發行

そろばん占奥附
定價金五十錢
送料十錢



著者 高橋北堂
 東京市下谷區四町一番地
 著作發行 木村茂市郎
 印刷所 神宮館印刷工場
 東京市下谷區西町一番地

發行所

東京市下谷區
四町一番地

易書出版

神宮館

電話下谷一三一七番
振替東京一二〇七六番

實地 經驗 周易 活斷

(全二冊)

日本紙四百九十八頁
定價 金三圓
送料 十八錢

●古來周易を註解講述せし書は實に汗牛充棟もたゞならざれど、その多くは經義を説くことに偏し、これを占筮に活用せんとする場合は徒らに望洋の嘆を發するにして、さらに實際の用を爲さるゝことが多い、本書はそれらの舊套を追はず、その卦爻象を説くに當りては朱子程子の説に隨ひて註釋し、一卦毎に占例々證を掲げ、なほ卷末には八宮を建て、本之世應を臺對し、陰陽升降、交位得失、納甲飛伏を配し、五六神親、十二氣運、生尅旺退を考摘の諸兆を彷彿せしむるなど實に盡せりと云ふべきである、なほ卦の起例互卦の取舍、五行相生尅、三要十應の奧義、六神用神の法、世應卦身の配置、其外人の依頼を判斷する法、一代の判斷、家宅の判斷、旅行待人其他人事百般の事項を五十有餘の項目を以てその占用例並に應用法を誰人にも判り易き様總フリカナ付として説明したれば、易理を知りて判斷の正鵠を得んと欲する諸士は本書を指針として研究なさば蓋し勞少なくして反つて其堂に達することは速かならん、又斯道先進の諸士も參考として一部は備ふべきである

神宮出版目錄

| | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|---|--|---|--|---|---|
| 實地經驗 | 神生れ月と運命 | 神人相と骨相學 | 神姓名による運命 | 運氣判斷 | 祝詞創作便覽 | 勅諭 | 妙藥植物圖鑑 | 圖解 | 易理活用 |
| 家相方位秘傳 | 生れ月と運命 | 人相と骨相學 | 姓名による運命 | 易學百科全書 | 祝詞創作便覽 | 戊申詔書新解 | 妙藥植物圖鑑 | 灸點新療法 | 運命大鑑 |
| 特 價 金八十錢 | 特 價 金八十錢 | 特 價 金八十錢 | 特 價 金八十錢 | 特 價 金八十錢 | 特 價 金五十錢 | 定 價 金五十錢 | 定 價 金八十錢 | 定 價 金一圓 | 定 價 一圓五十錢 |
| 送料 十錢 | 送料 十錢 | 送料 十錢 | 送料 十錢 | 送料 十錢 | 送料 十錢 | 送料 十錢 | 送料 十錢 | 送料 十錢 | 送料 十錢 |
| 家相學は住宅哲學にて文化的住宅と雖も其學說に基き原理應用により富貴長命子孫繁榮が得られる良書を詳しく説明し、なほ易占洵宮術等も附記してある | 同じ年でも生れ月が異れば氣質も運命も違ふ、それを詳しく説明し、なほ易占洵宮術等も附記してある | 骨相學四十二機關人相學三停六府十二宮其他各部位に就て詳説し、なほ家相方位の吉凶も附記してある | 良姓名は良運命を造る説明及び自分で選名し又姓名の獨判斷が出来る附録に改名屆手續名乗字引がある | 各人の性質相性姓名學及び曆の説明家相人相手相洵宮術錢占ひ等を誰れにも手軽に出来る良書である | 農工商繁榮祈禱旅行誕生結婚入學入營の祝賀疾病災厄除け招魂神葬祭其他神祭祝詞の作り方を詳説せり | 教育勅語戊申詔書を詳解し我國體と我等臣民の歸趨を闡明せる良書なれば思想混亂の折柄一讀を薦む | 皇漢藥物興につれ藥用植物書夥多あれども本書は青木先生の著にて最も信頼すべき極彩色圖入りの良書 | 本書は凡ての病氣を治す灸點を圖解にて詳説し且つ文章も平易にフリカナ付なれば誰れにも判る良書 | 本書は最新學理と實地經驗により人相手骨相家相姓名學及び生年月日等にて人生の運命を説いた實典 |

神宮易書出版目錄

| | | | | | | | | | | | |
|---|---|--|---|--|--|--|---|--|--|--|---|
| 新舊對照 九星配當 | 萬年曆 | 永二世相 萬曆大成 | 九星曆術 活斷口傳書 | 九星奧儀 秘傳 | 家業繁榮 子孫長久 家相の見方 | 卜筮 斷易指南鈔 | 秘訣 | 神道寶鑑 | 增訂 宅方明鑑 | 一代 開運の秘書 | 九星淘宮術 判斷 |
| キリ判和本四百〇六頁 送料金十二錢 | 定價金二圓五十錢 | キリ判和本四百廿八頁 送料金十二錢 | 定價金二圓四十錢 | 菊判和紙美本百頁 送料金十二錢 | 菊判和本二百三十頁 送料金十二錢 | 菊判和本四百頁 送料金十二錢 | 和紙本入二百四十八頁 送料金十二錢 | 定價金一圓一十錢 | キリ判上製二百廿四頁 送料金十二錢 | キリ判和本百七十六頁 送料金十二錢 | 折本式上製八十頁 送料金四錢 |
| 弘化元年より昭和五年に至る八十七年間の曆を集めた者なれば干支九星推命易占を爲す人の良き参考書俗に「三世相」と稱する書なれば其内容は世間周知のことなれど其體裁と印刷は些か誇るところである生年月日にて一代の運勢九星天地盤組み方家相方位曆の中段下段廿四節解説姓名判斷法外數十種が分る九星の體用九星陰陽線路圖解男女九星氣稟の割合及び天地四盤を組みて人事百般の活斷法が判る良書 | 九星の體用九星陰陽線路圖解男女九星氣稟の割合及び天地四盤を組みて人事百般の活斷法が判る良書 | 馬場信武先生が八宮本之世應陰陽升降交位得失納甲飛伏五六神親生尅旺退等斷易を平易に説きたる良書 | 山田先生が宗教法令講義神道調度名目神道各派諸流を解説し尙ほ祭式行事作法をも詳細にしたる良書 | 誰にも判り易き機地相、家相を説いた良書なれば家業隆盛子孫繁榮を希ふ人には是非必用の良書である | 子年より亥年迄十二冊に分本し各人天稟の性質適業相性家相方位毎年毎月の運勢を詳細に説いた書 | 九星術は先天的の運勢を知り淘宮術は精神修養の術なり是を平易に解説し人事百般に應用し得る書なり | 其名の如く諸神禮拜の折其神に捧ぐる祝詞數十種を集め尙卷末に祝詞中難解の語に注釋を施してある | 本書は日常の出來事は勿論病氣は何病て崇りは神佛四ツ足方角生靈死靈何であるかを誰にも直ぐに判る | 妖怪幽其他現世の不思議及び死後の世界即ち靈魂の正體より精神療法死を延す精神力其他數十項が掲載 | 天地盤を組み其掛りて求占者の來意を知りなほ人事百般の吉凶判斷が出来る九星判斷法の極意書である | 病氣を治し危難を避け願望を成就し損失を免かる、等眞言秘密不可思議の奇法を平易に記したる奇書 |

神宮易書出版目錄

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|---|--|---|---|---|--|----------------------|-------------|--------------------|-------|----------------------|-------------|
| 諸神禮拜祝詞集 | 身上 判斷 | 人生と 心霊及び | 死後の世界 | 九星 極意 | 八百通り 變化奧傳 | 災難 解除 | 眞言秘法大全 | 實地 經驗 | 周易活斷 | 圖解 秘傳 | 人相手 相の見方 | 實驗奇藥 藥圖人 | 自宅療法 | 神佛祈念 法研究 | 易學速成 講義錄 |
| 折本式上製八十頁 送料金四錢 | 菊判和紙二百九十三頁 送料金十二錢 | 洋裝箱入三百〇四頁 送料金十二錢 | 定價金一圓五十錢 | 菊判和紙二百五十六頁 送料金十二錢 | 定價金二圓 | 四六判和紙二百頁 送料金十二錢 | 定價金五圓 | 菊判和紙二百九十二頁 送料金十二錢 | 定價金三圓 | 菊判日本紙二百四十頁 送料金十二錢 | 定價金一圓 | キリ判百九十二頁 送料金十二錢 | 定價金一圓 | 四六判洋裝百八十四頁 送料金十二錢 | 定價金五圓 |
| 其名の如く諸神禮拜の折其神に捧ぐる祝詞數十種を集め尙卷末に祝詞中難解の語に注釋を施してある | 本書は日常の出來事は勿論病氣は何病て崇りは神佛四ツ足方角生靈死靈何であるかを誰にも直ぐに判る | 妖怪幽其他現世の不思議及び死後の世界即ち靈魂の正體より精神療法死を延す精神力其他數十項が掲載 | 天地盤を組み其掛りて求占者の來意を知りなほ人事百般の吉凶判斷が出来る九星判斷法の極意書である | 病氣を治し危難を避け願望を成就し損失を免かる、等眞言秘密不可思議の奇法を平易に記したる奇書 | 本書は程朱説を遵奉して卦爻象象を説き卦毎に例を掲げ尙卷末には斷易の判斷法を附記したる良書 | 百七十餘の圖入にて人相手相黒子及其他滿載なれば自分の運勢は勿論他人の事も容易に判斷が出来る | 數年の難病も或る草木を服用して全治した實驗奇藥を圖入にて滿載されてある苦病者には天來の福音 | 迷信を排して眞の信仰に入り神佛の恵みを接授して吾人の願望を成就する方法を説きたるものが本書 | 大島中堂先生が初學者に容易く了解出来る様易經の經義象法筮法占法を懇切平易に講義した良書である | | | | | | |

神宮易書館出版目錄

| | | | | | | | | | |
|---|--|--|---|--|---|---|--|---|---|
| 吉凶 判斷 二十八宿詳解 | 天氣 豫報 米價高低豫測 | 金儲 秘訣 金のたまる法 | 眞言秘密 兩部神法 加持祈禱奧傳 | 名前の 付け方 姓名判斷學字典 | 運氣 開發 獨占ひ秘法 | 誰にも 出来る 獨り占ひ | 易占的 中秘法 | 太上 神仙 鎮宅靈符尊影 | 惠比壽 大黒天 福德二神尊影 |
| キク判 送料 金十二 圓 | 菊判 送料 金十二 圓 | 四六判 送料 金十二 圓 | 和布表 送料 金十二 圓 | 菊判 送料 金十二 圓 | 菊判 送料 金十二 圓 | 菊判 送料 金十二 圓 | 菊判 送料 金十二 圓 | 菊判 送料 金十二 圓 | 菊判 送料 金十二 圓 |
| 文珠菩薩の宿曜經を可憐親切に解説したれば婦女子にも二十八宿による吉凶を判斷することが出来る | 干支九星易道より其年月日に於ける晴雨風雲寒暖又は米價の騰落及び天災地變を豫知することが出来る | 金を溜めても夫を利殖して儲けることを知らぬ人が多い本書を利用せば十年にして萬金が得られる | 本書は神佛兩道の各行者が秘密とした加持祈禱に關する法式を五百二十有餘の圖解にて公開せし珍書 | 自稱大家の邪說妄論と違ひ姓名學の眞隨を披歴して字引を付けたれば姓名判斷學研究者には好同伴なり | 本書は易占干支九星相性方位家相相手相指紋骨相姓名學の字引及び相場必勝法を判り易くしたる良書 | 易の六十四卦を容易に判斷出来る様編纂した珍書にして筮竹の取り方占ひの仕方詳しく記したる良書 | 身の上判斷して何歳の時災難あるか又金儲けあるか容易に判斷が出来る良書なれば初學者に無二の良書 | 太上神仙大元北斗星御影に七十二道深秘の靈符を配して掛軸となし尊信渴仰の人々には分與する | 惠比壽大黒天二神の尊影を常に信仰する時は家業繁榮福徳圓滿を守護せらるゝは世人周知の事である |

神宮易書館出版目錄

| | | | | | | | | | |
|---|--|--|---|--|--|--|--|---|---|
| 姪娠學 の原理 子の出来る秘傳 | 孔穴 圖入 鍼灸術秘傳書 | 四柱 推命術 運勢大鑑 | 鎮魂 傳習錄 | 實地 經驗 家相極秘傳 | 實地 經驗 人相極秘傳 | 周易 占筮講話五冊 | 九星 判斷講話三冊 | 除災 招福 神秘開運法 | 高島 秘傳開運法 |
| 洋裝箱入二百七十四頁 定價金五十錢 | キク判 送料 金十二 圓 | 四六判 送料 金十二 圓 | 菊判 送料 金十二 圓 | 菊判 送料 金十二 圓 | 菊判 送料 金十二 圓 | 菊判 送料 金十二 圓 | 菊判 送料 金十二 圓 | 菊判 送料 金十二 圓 | 菊判 送料 金十二 圓 |
| 醫學哲學兩方面の學說を掲げて姪娠法及び姪娠中の心得と性交の注意等を平易に解説したる良書なり | 鍼灸術各派の秘録を蒐集しなほ人體解剖學と十四經を對照し施術を行ふべき局部を圖解にて示してある | 陰陽兩四柱に涉りて其占斷法を示しなほ年表を掲げて九星の飛泊方位相性等を一目瞭然に説明してある | 我國固有の靈學鎮魂は天授の神法にして死者の魂を招鎮し靈界の神に相見の法を説きたるものである | 自己住宅の良否新規増築の吉凶を知らんとする人の相談相手となり又家相鑑定者の參考となる良書なり | 人相の極意氣色の秘傳を百五十餘の圖入にて編輯したれば婦人子供にも容易に了解し得られる珍書なり | 本書は易の經義を詳細に説きなほ筮法變占法象數圖說其他六十餘項目を掲げて易道の蘊蓄を盡せる良書 | 本書は三元九星の初段法より九段法に至る奧儀秘密の事項を網羅して何人にも了解し易く解説せる良書 | 安部晴明の陰陽道弘法大師の眞言口傳日蓮上人の天臺相承により災を避け福を招く法を平易にした書 | 各人の性質相性姓名學及び曆の説明家相相手相獨り占ひおみくじ判斷等を誰にも判る様編輯してある |

神宮易書館出版目錄

| | | | | | | | | | |
|--|--|---|--|--|--|---|---|---|---|
| 性相學原論 | 通俗詳解 周易之講義 | 修養實訓 幸福招來法 | 神道秘傳 行事寶典 | 訓點カナ付 周易正文 | 通俗詳解 五行易指南 | 神道眞言 妙術秘法大全 | 吉凶判斷 梅花心易指南 | 萬夢秘藏書 | 米相場必勝寶典 |
| 洋裝箱入九百八十六頁 定價金五圓 送料金十八錢 | キク判和本九百十頁 定價金五圓 送料金十八錢 | 四六判二百三十八頁 定價金五圓 送料金十八錢 | 菊丸四百二十八頁 定價金五圓 送料金十八錢 | キク判和本四百四十六頁 定價金五圓 送料金十八錢 | キク判和本四百二頁 定價金五圓 送料金十八錢 | 布表裝笠入三百二十頁 定價金五圓 送料金十八錢 | 菊判和本二百四十頁 定價金五圓 送料金十八錢 | キク判和本九十四頁 定價金五圓 送料金十八錢 | 洋裝箱入三百九十八頁 定價金五圓 送料金十八錢 |
| 科學的基礎に基き人類の腦部位説と心性機關とを確定し各人の特質性僻運命等を豫知明斷が出来る良書 | 高島吞象柳田幾作兩先生の合著にして其講説は至つて平易に懇切なれば易道入門者の指針の良書である | 先天的薄運不幸の人も後天的修養努力によりて天運の缺を補ひ幸福の生涯を送る方法を説きたるもの | 神道の祭式行事作法と其故實を詳説しなほ祝詞集を附記したれば神祕神道教師神事研究者の好同伴なり | 正しき易經の讀方が總振假名附となり且つ訓點附なれば初學者にも讀み易く體裁優美の美本である | 八卦六十四卦五行分屬六親六神用原忌仇神世應卦身納甲飛伏六甲十二運等に因る五行易の教科書である | 本書は神佛兩道の行者が奥傳口授せし秘法數百種を公開せし珍書にて全部平假名付にて讀み易き良書 | 梅花心易は筮竹算木を用ひず年月日時、物數、聲音、字劃、寸尺、人物、動物其他にて卦を起す至妙の易 | 本書は夢の吉凶を五行に分類して自分獨りて判斷が出来る様平カナ付で編輯したる一家の重寶である | 米界の神様本間宗久翁の遺書に注解を加へ尙期米賣買手引と九十年間の米價高低が野線て示してある |

終